

屋内祭祀の舞台(3)

—「貯蔵穴」の諸相—

石坂 俊郎

1 第3篇にあたり

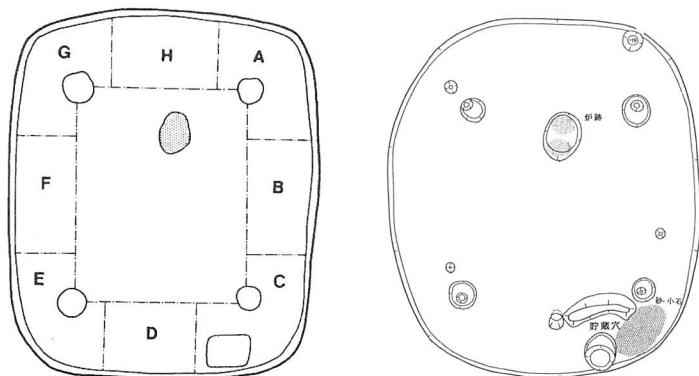
「赤砂・小砂利の祭壇状遺構」の再認識に始まった拙論第3篇となる本稿では、前回の予告通り(石坂2018)、祭壇状遺構の近隣に現れる「貯蔵穴」を主題とする。

「貯蔵穴」は、竪穴住居跡に付随する設備として、柱穴、炉(カマド)に次ぐ存在感をもつ。その名称は、縄文時代の食糧貯蔵用屋外地下施設に遡り、弥生時代以降屋内に出現してからも、規模の差こそあれ縄文時代以来の地下式収蔵設備と見做されてきた。今回は、祭壇状遺構存在期におけるその実態を整理し、両者の関係を確認することを目的とする。

ところでこの時期における「貯蔵穴」の名称は、しばしば上記のような鍵括弧もしくは接頭詞「いわゆる」を付して用いられる。名が実を表していないという疑惑を表すものだろう。たしかに屋内「貯蔵穴」の収蔵機能については、土器が入れ込まれた(埋納の可能性も含め)状態で出土する場合を除けば、それを示す事例に乏しい。土器も混入が疑われる小片を除くと報告例は多くない。という状況ではあるが、以下記述に当たっては、表現の煩瑣を避けて、遺構の名称は、素面のまま“貯蔵穴”としたい。

検討資料の収集範囲は、これまでのとおり大宮台地地域南部、弥生時代～古墳時代前期とした。今回は紙幅に配慮し、八王子市神谷原遺跡の事例は取り上げなかった。その結果、報告者から当たった住居跡は1751軒である。そのうち未完掘あるいは破壊により貯蔵穴の存否が確認できないもの、またごく少数だが完掘されたものの判断を保留したもの計588軒を除く1163軒について貯蔵穴の有無と内容を確認した。その結果、報告書に貯蔵穴が記載されたもの、文中に記載はないが、図から筆者が想定したもの(表1には「想定」と記載)は811軒である。1軒に2基の貯蔵穴が所在する(3基以上はなかった)場合もあり、対象とする貯蔵穴は840基である(表1)。

なお住居内空間の平面区分については、これまでどおり祭壇状遺構に最初に注目した小倉均によるものを用いる(小倉1990、第1図左)。



第1図 住居内区分図(小倉1990)と実例
(右：さいたま市大谷場小池下遺跡14住)

2 貯蔵穴の配置

貯蔵穴は、ほとんどと言ってよい割合でエリアC(以下、基本的にアルファベットのみで略記)およびC・D境界付近に配置され、ほかに確認できたところではE：17基、A：11基、G：4基である。出入口を構える住居前面のうち、屋内から向かって左方にあたるC側に集中し、あ

とは3方のコーナー部に僅かずつという傾向が明瞭である(註1)。

1軒あたり1基が基本なようだが、2基の場合も30例確認された。2基の配置はともにC、D(住居跡中軸上・脇)である場合が主体で、ほかにC・E:4件、C・A:1件、2基ともC・Dからはずれるものは、さいたま市本塙23住(文88)のA・A1件のみである。特異な例としては上尾市稻荷台11住(文2)で1基が炉脇に配置されている。これらについて、2基同時に存在したか、あるいは配置換えを伴う更新により前後関係(先行するものは埋め立てられたか)を有するかは個々検討が必要である。後述のとおり2基が並列して一連の土堤に囲われた例(第6図)は併存とみてよいだろう。

このとおり貯蔵穴は、祭壇上遺構と同じくエリアCを拠点としている。もっともその数は、祭壇状遺構約200基に対し4倍に及び、祭壇状遺構を伴わない場合が圧倒的に多い(註2)。そもそも祭壇状遺構のそばには貯蔵穴がある、という配置の親縁性から貯蔵穴に注目したが、視点を貯蔵穴の側に移せば、祭壇状遺構の存在はむしろ従属的と言わざるを得ないが、その拠点を共有している点は動かない。

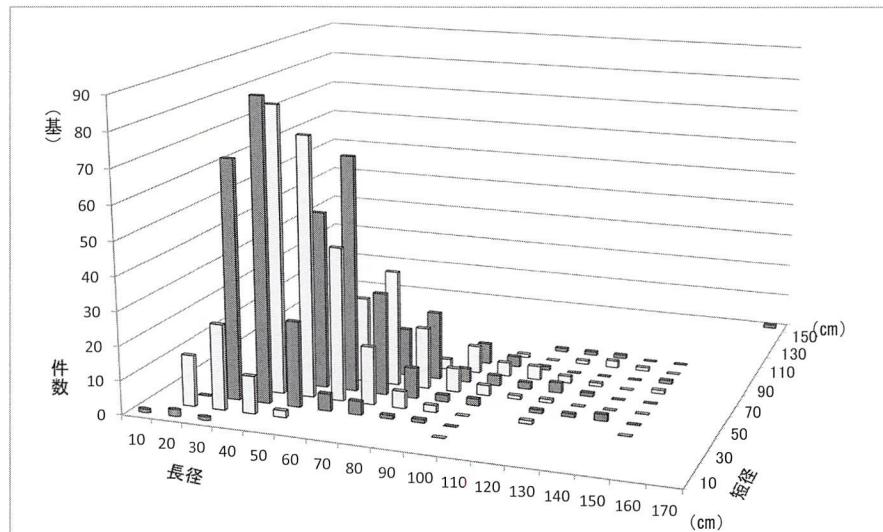
3 貯蔵穴の形状

(1) 平面形

床面開口部の平面形態は、円・橢円・方形、それの中間形と様々で、中には「不定型」形と言わざるを得ないものもある(第4図)。ただしその形状は検出時のものであり、後述する通りそれを単一の遺構と見做せるかは判断に慎重を要する。

これらの点を念頭に置くと、表層的な形態分類は收拾がおぼつかなくかる見込みが大であり、そもそも有効性も疑わしいことから今回は見合させた。それに代わり、より単純で定量的なデータとして長径×短径—これもどの位置に求めるか難しい場合が多いが—の規模をグラフ化した(第2図・註3)。

その結果、径30~40cmが分布のピークとなり、一般形はその付近に求められる。またピークに対し、とりわけ長径の分布は大規模方向へすそ野がゆるく広がるように見える。これは続いて述べるとおり、急角度で掘り込まれた豎坑(ピット、いわば本来の貯蔵穴)の周囲に浅い掘り込みが1段付随する場合が影響している。ここではその外周を貯蔵穴開口部として計測しており、収蔵機能を見認める深堀部分を分別すれば、ピークはより峻険に表れるだろう。



第2図 貯蔵穴平面規模の分布

また報告書所載の実測図を悉皆的に当たっていくと、その姿は、上端と下端が同心円状に一周する単純な掘り込みばかりではないことに気付かされる。しかし複雑に連結するその描線からは、断面図と対比させても立体観をどう読み取るか困惑させられる場合がしばしばある。小規模なうえに形状がまま込み入った遺構だけに、現状の実測図による表現では、精度の限界を感じられる(註4)。

そのような状況をふまえ、事象の抽出はまず端的な特徴に絞り込むこととし、その一つとして開口部周囲に浅い段(以下「平坦部」と記述)が付随する事例を取り上げておきたい。

その段は、深さ10cm未満で、開口部外周の一部から、ぐるりに及んで巡るものまであり(第4-1図5・7・9~12、第4-2図13・15・17・19)、取りつく位置から次の通り分類した。

ア：住居中心部の側(概ね炉の方向)

イ：直近の側壁側

ウ：直近の前もしくは奥壁側

エ：住居中軸線(C・E区では出入口)側

オ：縁部全周

ア・ウについては住居中軸直交線(=住居跡横断線)をはさみA・GとC・Eに位置するもの、イ・エでは住居跡中軸線をはさみA・CとE・Gに位置するものがそれぞれ対称の向きをとる、つまり同じ分類どうしでも、位置により見かけの向きは逆である(向き合うもしくは背き合う)。もっとも、実際は大部分がC・Dに位置することから同類はほぼ同じ向きを取り、状況はそう複雑でない。

断面2段+浅部の向きを分類名称とすると、該当する総数95件(貯蔵穴全体の約11%)のうち「2段ア」が42件、以下「オ」22、「イ」15、「エ」6、「ウ」5、そして複数方面に広がるものでは「ア・イ」、「ア・ウ」、「イ・エ」各1、「ア・イ・エ」が2件である。後節で述べるとおり、これらには单一の遺構とは見做し難いものも見られるが、2段アが明らかに優勢(オにもア方向は含まれる)である傾向から、住居中心部方向への意識は看取できる。遺構の重複を見込んでも、その秩序は乱されていないといえる。

このうち2段オについて貯蔵穴の蓋を落とし込む設備と見做す説がある(文141)。また、さいたま市B-66W5住(文108)では、貯蔵穴(2段オ・E)下層から出土した円形粘土盤が、貯蔵穴蓋の遺存例として報告されている。しかし遺構の性格に結びつく報告例はまだ希少である。貯蔵穴開口部の浅い落ち込みについて、意義づけは宿題であるが、遺構重複の可能性については後述したい。

(2)断面形

貯蔵穴の断面形は、平面形に比べ報告されている情報が不十分である。断面図が掲載されていない場合もままある。土層断面図は、さらに少ない。記録はあるが横断面が肝心のラインから逸れている場合もままあり、報告書に基づく探索には強い制約が感じられる。それでも平面形が一様でないよう、断面形も多様であることはわかる。浅い盆状、逆台形状、薬研(「V」字)状そして細く鋭い錐状を呈するものも認められる(第4-1図1~6など)。一口に言えば口径と深さは比例しない、具体的に言い換えれば「口径が大ならば深い、小さければ浅い、というわけではない」という状況である。「錐状」と称したものはその端的な例といえる(同図4)。

平面図が伝えない情報のうち、機能に密接に関わる要素とみられる深さの分布をグラフ化した(第3図)。底部に凹凸がある場合は、最深部の値を探った。結果を見ると、20cm台前半にピー

クがあり、概ね深さ20cm台が突出している状況である。より浅い10cm台も、逆に深い30cm台と大差ない分布を示す。住居床面が確実であれば、この結果は貯蔵穴の深さを正確に反映しているとみてよいだろう。ところでこの結果は、収蔵設備にふさわしい深度としては、浅すぎる傾向を示していないだろうか。

出土例に裏付けられた土器との関連でいえば、深さ30cm未満だと、住居跡出土品として一般的な壺、台付甕の場合、正立させると口まで収めるにはぎりぎりだろう。先述の浅い掘り込みを蓋置きとして差し引けば、さらに浅くなる。2割近くを占める深さ20cm未満の場合、完全に入れ込むなら当然より小型品に限定される。穿った見方をすれば、次第に実用性から遠のく方向で器種が限定されることになる。土器の封入が無理とみられる浅いピットも主にその配置から貯蔵穴と見做されている場合がある。

逆に深さが30cmを優に超え、50～70cmに及ぶものには、入口幅が相対的に狭く、底部に向けて先細ることにより、先述の断面形が「錐状」に及ぶものがある。深さは十分とはいえ、これも内容物の日常的な出し入れにふさわしいとは思われず、むしろ一度の封入に限られた埋納行為を想起させる。

もとより貯蔵穴の名にふさわしい機能にこだわるつもりはないが、端的にいえば、ここからうかがえる貯蔵穴の機能は画一的なものでない、日用の糧をまとめて蓄える原義的ものからは離れた、実用の枠に収まらない一群の存在がうかがえる。

(3) 土層断面

小倉は、祭壇状遺構を検討する中で、貯蔵穴はそれ(=祭壇状遺構)と関連をもつ埋め立てられた祭祀遺構であるとの見解を示した(小倉1990・註5)。今回貯蔵穴に注目した動機はそこにある。断面形の様相は、上記の通り実用の枠外にある用途の可能性を示しているが、引き続き貯蔵穴内部の覆土(=埋土)の堆積状況を通してその点を検証したい。

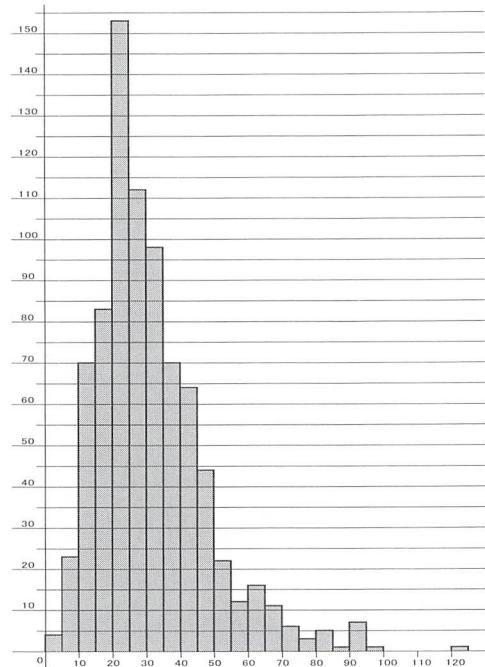
今回得られた貯蔵穴の土層断面図は、遺構単位で492件(遺構数の59%)である(有無は第1表に示した)。

あらためて確認しておくと、屋内貯蔵穴のステレオタイプは、一つ(二つの場合があることは先に見たが)の豊坑が、日用物の、出し入れを伴う貯蔵に用いられていた、というあり方ではないか。それを念頭にここで検討の眼目となるのは、次の2点である。

- 1) 遺構は、本来的に单一のものなのか、複数の遺構が複合(掘り込みの重複)した姿である可能性はあるか
- 2) 住居使用時に開口していたか、つまり収納物の出し入れ等、居住生活時の使用は可能だったか。あるいは居住段階で埋め立てられていた可能性はあるか

1)について：遺構平・断面図と土層断面図の所見を遺構単位で整理すると次の通りである。

- ① 単一の遺構である可能性が高い (例示番号は以下いずれも第4図)



第3図 貯蔵穴深度の分布

甲：形状は比較的単純で、覆土にも確実な切り合いが確認できない

例：1～4

乙：形状は複合的だが、覆土にそれに対応する切り合いが認められない

例：11、12、13

②複数の遺構が重複している可能性が高い

甲：形状は比較的単純だが、覆土に掘り返しによる切り合いが認められる

例：14、16

乙：形状は複合的で、覆土にそれに対応する切り合いが認められる

例：5～10、17～20

③形状から遺構の重複が疑われるが、判断材料に乏しい

甲：土層断面図を欠き、「疑わしい」以上の検証ができない

類例多数、例示省略

2)について：ここでは土層断面図のみが手掛かりとなるが、1)よりも検証が難しい。判断に至ったものはごく少数である。住居跡内の付属遺構検出は、通常床面精査を経て行われるため、床面上の住居跡覆土との関係を連続的に示す断面図は、それが住居跡内を縦横断する土層観察用土手もしくは万一調査区限界の壁面に偶然引っかからない限り通常得られない。開口あるいは埋立を直接的に証明するには、それが必須となる(註6)。

①住居使用時に開口していた

甲：床面上層覆土が遺構覆土として連続している状況が確認できる

例：14

乙：床上覆土と遺構内覆土の堆積状況・混入物の共通から、両者の連続が推測される

例：さいたま市B-66W 2住で焼土・炭化物の共有から報文で開口を指摘(文104)

②住居使用時、遅くとも廃絶までに埋め立てられていた

甲：床面上層覆土と遺構覆土の断絶(分層)が確認できる

例：21・22

乙：混入物の有無、しまり具合など特徴の差異から両者の断絶が推測される

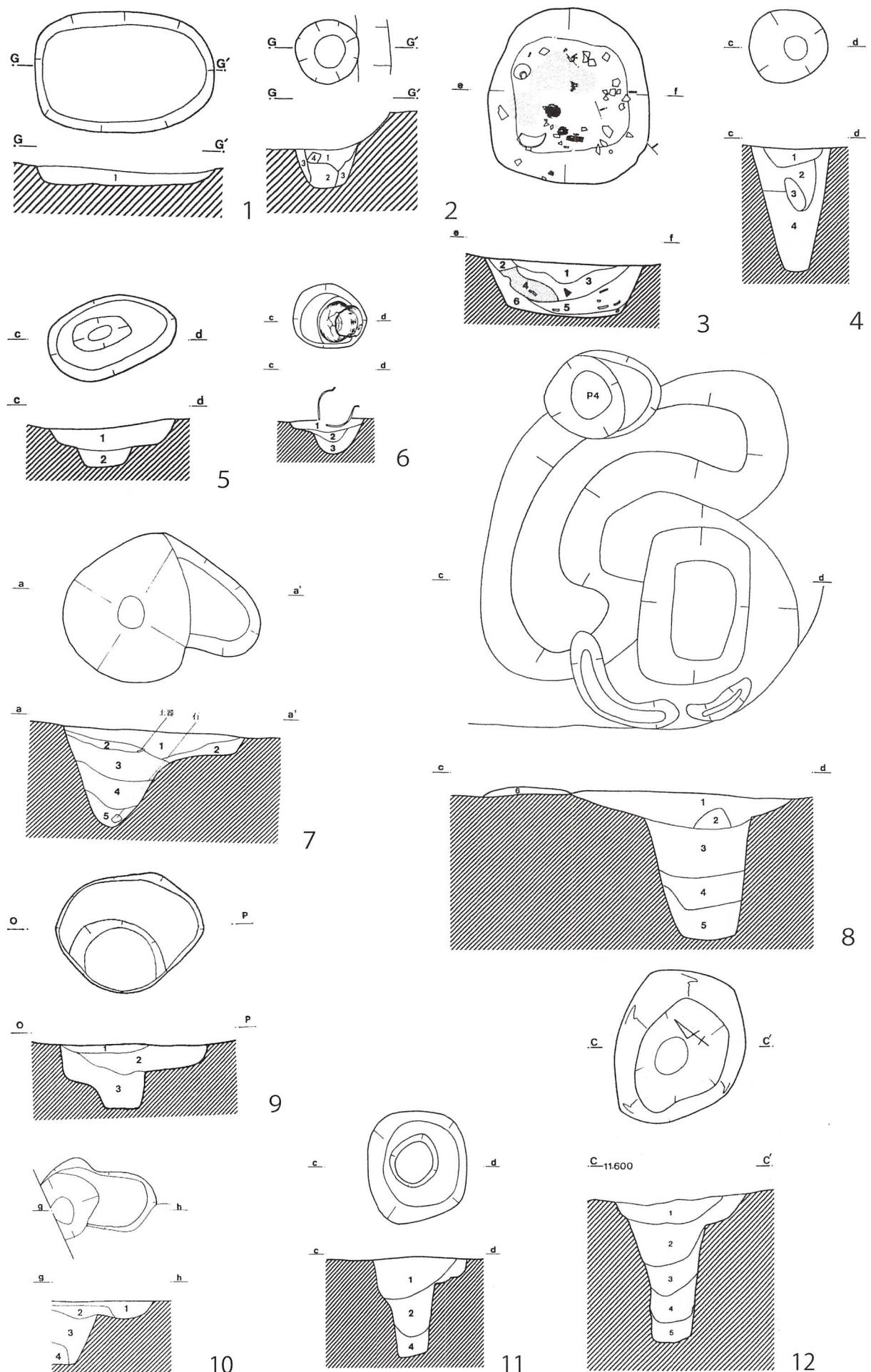
(小倉1990での指摘、類例未探索)

以上通観すると、すでに触れたように、1)・2)いずれも状況は一様でない。その組み合わせによって貯蔵穴とされる遺構を照らせば、その様相は単一ではなく、その状況は、とりもなおさず遺構の性格が持つ多様性を反映していると捉えられる。

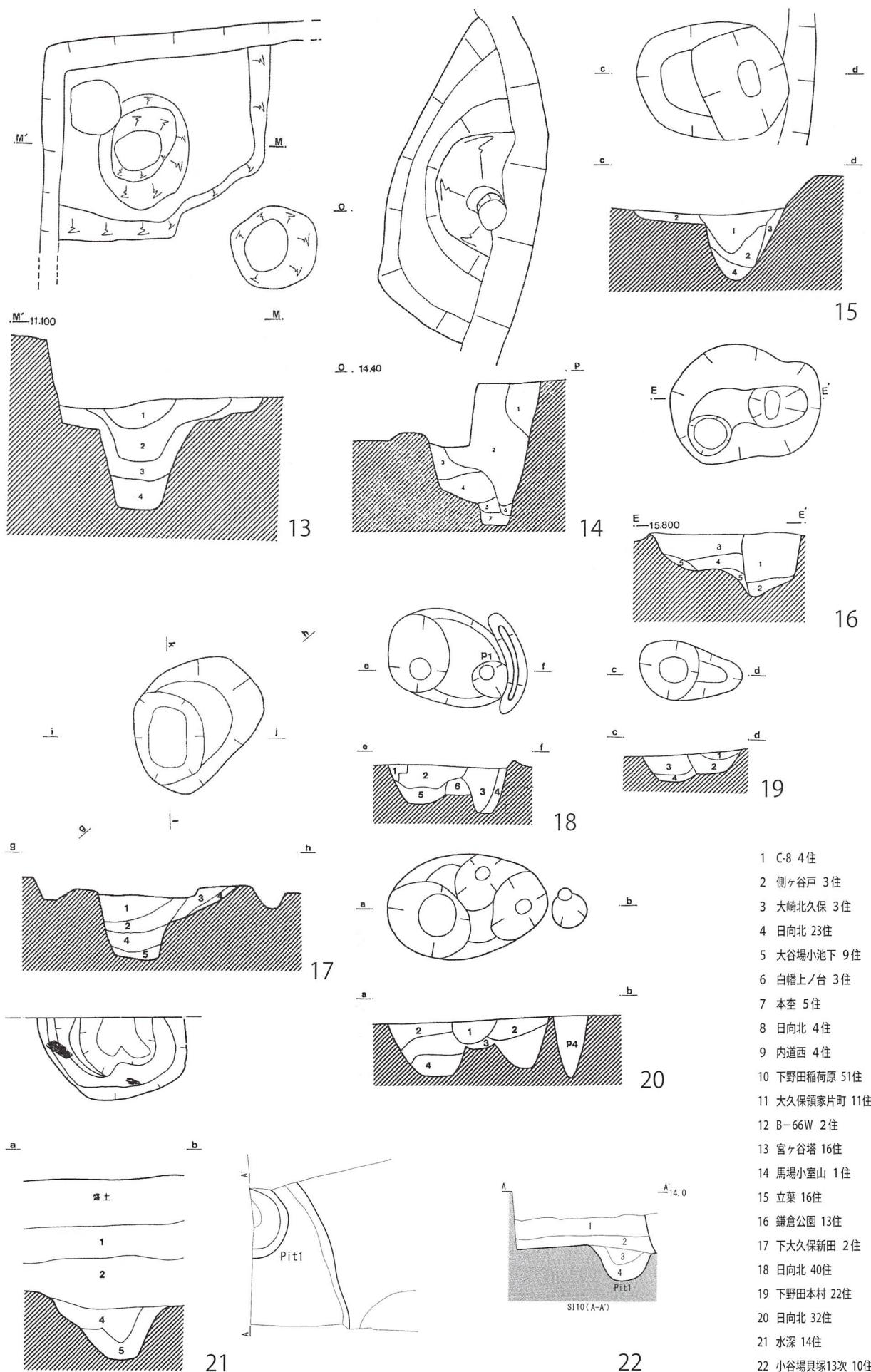
4 土堤

貯蔵穴には、しばしば貼床から隆起したような土堤が付随する(報告書では「突帯」と呼称される例が多い)。拙稿(1)では祭壇状遺構に伴う構造物として土堤を取り上げたが、配置からして貯蔵穴とより近縁だろう。今回あらためてその様相を整理したい。

貯蔵穴840件に対し、断片的なものも含め267件が貯蔵穴と関連を有する土堤として確認された。ほかに炉に付帯するものなど、貯蔵穴と無関係な位置に数点認められたが、ごく例外的であり、土堤は貯蔵穴に対し十分条件的な存在と言える。



第4図-1 貯蔵穴の諸例(縮尺1:30)



第4図-2 貯蔵穴の諸例(縮尺1:30 22のみ1:50)

	あ	い	う	え	お	
1	a	○	○	—	○	○
	b	□	○	△	△	○
	c	○	○	○	○	○
	d	□	□	○	□	○
2	a	○	○	△	○	
	b	□	□	□	□	○
	c	○	○	○	○	○

The diagram shows various configurations of earthworks (土堤) and storage holes (貯蔵穴).
 - **Row 1 (1条類):**
 - **Column 1 (a):** Shows a single vertical embankment (直線形) with a storage hole at the top.
 - **Column 2 (b):** Shows a single embankment with a storage hole at the bottom.
 - **Column 3 (c):** Shows a single embankment with a storage hole in the middle.
 - **Column 4 (d):** Shows a single embankment with a storage hole at the bottom and a residence wall (長方形) at the top.
 - **Column 5 (e):** Shows a single embankment with a storage hole at the top and a residence wall at the bottom.
 - **Column 6 (f):** Shows a single embankment with a storage hole in the middle and a residence wall at both ends.
 - **Column 7 (g):** Shows a single embankment with a storage hole at the bottom and a residence wall at the top.
 - **Row 2 (2条類):**
 - **Column 1 (a):** Shows two embankments side-by-side, each with a storage hole at the top.
 - **Column 2 (b):** Shows two embankments side-by-side, each with a storage hole at the bottom.
 - **Column 3 (c):** Shows two embankments side-by-side, each with a storage hole in the middle.
 - **Column 4 (d):** Shows two embankments side-by-side, each with a storage hole at the bottom and a residence wall at the top.
 - **Row 3 (3条類):**
 - **Column 1 (a):** Shows three embankments in a row, each with a storage hole at the top.
 - **Column 2 (b):** Shows three embankments in a row, each with a storage hole at the bottom.
 - **Column 3 (c):** Shows three embankments in a row, each with a storage hole in the middle.
 - **Column 4 (d):** Shows three embankments in a row, each with a storage hole at the bottom and a residence wall at the top.
 - **Annotations:**
 - A legend at the bottom indicates:
 - ○: Storage hole (貯蔵穴)
 - —: Long rectangle (長方形) = Embankment (土堤)
 - □: Short rectangle (矩形) = Embankment (土堤)
 - 斜線網掛け: Wall (壁)
 - 杖上方: Indicated by a stick pointing upwards, indicating the direction of the residence wall (住居中央方向)

第5図 土堤分類図

分類は、土堤の条数(1～3)、形状(a～d)、貯蔵穴・住居壁面との位置関係(あ～お)の3要素を順に階層として組み立てた(第5図)。その結果、最多は1aう(85)、以下1cあ(47)、1bお(29)、1cう(27)、1bあ(18)、1bい(14)、1cい(9)と続き、1条類はその他16件を加え計245件となり、全体の92%を占める。2条類は13件、3条類は2件とごく従属的である。

土堤に実用性に裏付けられた意義は見出しがたい。すでに言われる通り結界のような象徴的役割を担うと考えたい。とすれば、土堤は、何に対し貯蔵穴を画しているのか、言い換えれば何と貯蔵穴の間に割り入っているのかに注目する必要がある。「画する(=隠す)」機能を最も明瞭に示すのは頻度第2位の「1cあ」だろう。壁に取りつくことにより貯蔵穴は全方位から隔離される。壁から離れるものの第4位の「1cう」もほぼ同様な機能を持つと見做せる。頻度上「1aう」にはなお及ばないが、先に触れた2基の貯蔵穴を同時に囲う例もあり、土堤の機能とそれを発揮する対象となる貯蔵穴との親縁関係を象徴的に示している(第6図・註7)。

これに対し圧倒的優位を占める「1aう」は、直線形(やや湾曲したものも含む)の土堤が炉方向、つまり住居中心部と貯蔵穴を画する位置にある点に注目したい。1b・c・d、2a・bの多くもこの機能を含むことから、土堤のほとんどのものは住居中心部との区画が意図されていた、言い換えればそれが土堤の中核的な意義だったとみられる。

なおこの点を重視するなら、今のところ少数だが中期に例が偏る「2cあ・い」など炉方向に限

り開放する形式については別の意義づけが必要となるだろう。

次いで、住居中心部との区画を担いつつ、「1bお」、「1bあ」がそれぞれ第3・5位の頻度を占める裏付けとなる存在意義をどう考えるか。これらが最頻出するエリアC一帯にあっては、「1

bあ」は<出入口・住居中心部方面>と<貯蔵穴を含むC>を画し、それに対し「1bお」は、貯蔵穴の逆側に位置することにより<貯蔵穴を含むC・D>と<Cコーナー部・住居中心部方面>を分けている。前者は、いわば祭祀の舞台空間と目されるエリアCを日常生活の舞台空間から分ける存在として素直に理解できるが、後者の意義はその出現頻度が「1bあ」に勝る状況と合わせ即断できない。それはCコーナー部に設置された祭壇状遺構と貯蔵穴を分断する光景であり、祭壇状遺構は土堤外縁に位置することになる。貯蔵穴と祭壇状遺構の親縁性と土堤の隔絶性を両立させるなら、この入り合い状況は矛盾の観がある。検討を今後へ持ち越したい。

このように土堤と貯蔵穴・祭壇状遺構の相関を想定することについては即断しかねる状況もあるが、諸例にあたるうち、新たな注目点も見出された。土堤は、貯蔵穴を囲う目的を徹底させる方向で、1cあ型などでは貯蔵穴外縁に癒着し一体化した姿(それを「出ベソピット」とも呼んだらしい[文1；9頁])を示す。その一方で、貯蔵穴を囲むことよりも、出入口施設もしくはその想定位置(住居中軸線基部付近)と、エリアC前面の主柱穴を繋ぐことを配置の共通項とする点である。第5図に掲げたもの多くにその傾向がうかがえる。強調するなら、特定設備ではなく屋内空間の分割が顕在化したものとして注目したい。出入口である昇降設備とその傍らの主柱間を仕切れば、土堤自体は標示的存在にすぎないとしても、炉辺側から見てその奥部は、これも強調するなら、日常生活から画された静謐な空間として演出され得たと思われる。

繰り返すが、「1bお」によってCコーナー部と祭壇状遺構がそこから区切られる場合については再考を期したい。

小結

祭壇状遺構、貯蔵穴、土堤と、狭いながらも屋内に視野を広げていくと、やはりエリアCを中心とした一角は、過去にもすでに言及はあったが、「屋内祭祀の舞台」として括った視点からの再評価が求められる。この言葉は、起稿にあたり祭壇状遺構に付与したものだったが、やはり行き着くべきところに至った感がある。

その場において貯蔵穴は、どのようなあり方を示したか。

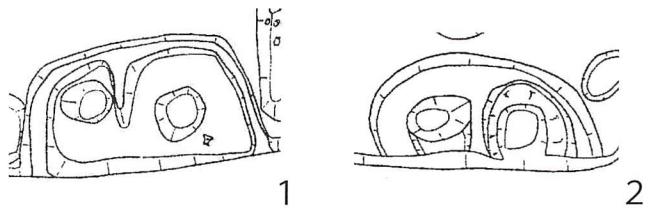
少なくとも、当該期の遺構として認識される「貯蔵穴」の主たる存在意義は、炉や主柱穴のように住居の主要設備として居住生活を支えるものではなかったと考えられる。

報告事例から得られた所見をあらためて以下に挙げる。

①まず形態が様々である

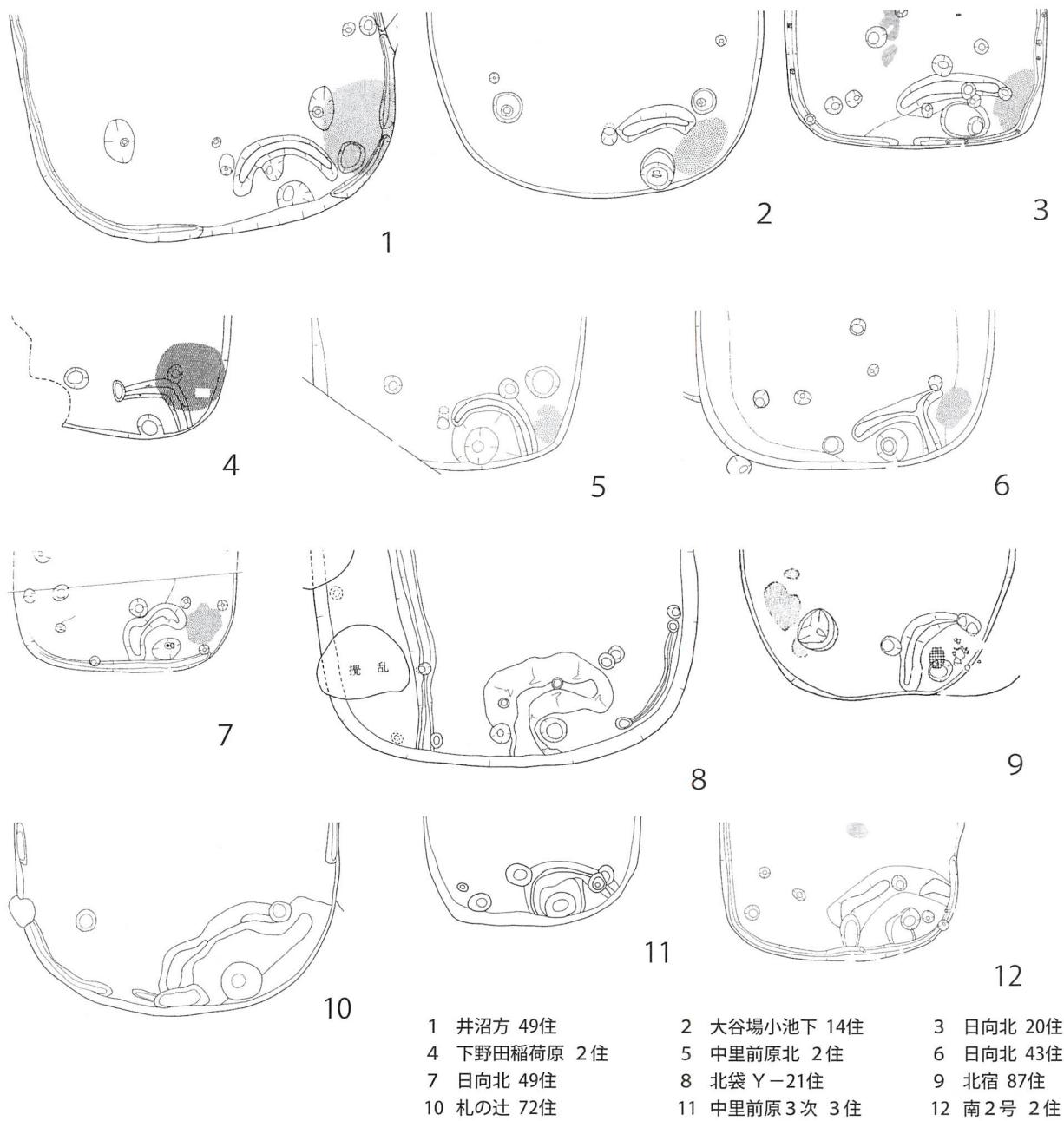
⇒用途の多目的性がうかがえる

②確かに、床面上層覆土の流れ込みが語るとおり住居廃絶時の開口が認められる事例はある



第6図 土堤に囲まれた2基の貯蔵穴(縮尺1:30)
1 別所遺跡 4A住 2 和田北遺跡 2住

— 9 —



第7図 土堤と周辺設備の配置(縮尺1：100)

⇒生活期間中収蔵設備としての機能が想定可能であり、名称通りの存在は否定できない

③その一方で、床面上層覆土との相違から、住居廃絶時の埋没が認められる事例がある

⇒住居廃絶前のある時点から収蔵設備としては存在しなかった

④また土層の切り合いや遺構の重複から、埋まった設備(の直近)を再掘削し、同様のものをあらためて設置したことが認められる事例がある

⇒設備の使用期間は断続的ながら、特定個所が継続的に同目的で使用された

「様相は多様だ」と言ってしまえばそれまでだが、それを「動的だ」と言い換えれば、時として土堤に区切られた向こうの空間は、「静謐」ならざる舞台空間としての検討が必要である。

とりわけ④に示される貯蔵穴の重複は、飛躍を恐れず言えば、居住生活の中での祭祀行為のくり返しを跡付けている可能性がある。とすればCはその舞台であり続けたと言える。また土

堤付近に小型ピットが散在する点が気になりつつ、その検討に至らなかった。あるいは舞台の上部構造の存在もあり得るだろう。概念的な住居内区分も、作業仮説から実態を反映させた実像への見直しが必要である。一例を挙げればCの範囲に関わるDとの関係である。第1図に示された概念上のC・D境界は基準としてあいまいで(註8)、土堤「1bあ」が示す現実のそれは、すでにDの範囲を住居中軸線まで押し込んでいる。DとEを分ける裏付けはあるのか。

エリアCが舞台とすれば、住居内空間をいわば劇場として一体的に再検討する必要が見えてくる。

一方、視野を大宮台地から周辺地域に広げる課題を次回に期していたところであるが、内外両方向への道程へ視線を投じざるをえない地点に至った。収束を念じつつ次回へつづく。

(2019年2月11日稿了)

《註》

- (1)例示したような主軸方向に長い小判形のほかに、主軸方向を縦とすれば横方向が幅広となる住居も散見される。炉の位置が長辺・短辺どちらに偏るかでその型を想定するが、報告書と異なる判断を下した場合もある。それによりA～Hエリアの想定も90°ずれることになる。また拙稿(1)の1(5)で両者の関係に触れた際、「『貯蔵穴』は、住居内のC空間で『祭壇状遺構』と同居するのがほぼ通例である。」と書いた。言うまでもなくこれは主従が逆転しており、祭壇状遺構から見た貯蔵穴との関係を指している。この機会に文中両者を入れ替えて訂正する。ただし貯蔵穴を伴わない住居に祭壇状遺構が見出された例も20件ほどある。ではあるが両者がエリアCを接点としていることは確かである。
- (2)大宮台地地域の祭壇状遺構数は、起稿当初183件と記したが、その後貯蔵穴を追う過程で18件の追加をみた。報告文中の記述のみで図がない場合がしばしばあり、まだ見落としなしとしない。今回は追加訂正を見送り、今後周辺地域を含めた段階で改めて一覧に盛り込みたいと考えている。
- (3)数値は、基本的に報告書の記載を尊重したが、不記載、不十分また明らかな誤りである場合は、掲載図から計測した。グラフのX・Y軸の目盛は10cm刻みであり、基数を示す棒は、その間<以上～未満>でまとめた結果である。棒の色分けは列を識別するための交互配列で、遺構の属性とは関係ない。
- (4)段とも湾曲ともつかないあいまいな凹凸を、単純な線に還元して平面化する作業の難しさは、発掘調査の経験上実感される。精密を期するなら主觀を排した3D測量など抜本的に異なる方法の導入が待たれると言わざるを得ない。
- (5)既に拙稿(1)で紹介しているが、当該部分を原典からあらためて引用する。「(ピット(=貯蔵穴；引用者註)は住居が埋没以前に埋没していた可能性が高い。)」「(住居埋没以前にピットが埋もれていたとすればこのピットの性格は単なる貯蔵のためのピットではないことになる。)」「(単なる床下収納庫的なものではなく祭祀のための施設であり、それにかかわる何かを収納するための場であった可能性が考えられる。)」(小倉1990:119頁)なお拙稿(1)では文献名称を誤って紹介してしまった(誤;「…の研究」、正;「…について」)。掲載誌目次の誤りを引き継いだためだが、迂闊にも前号(2)でもそのまま用いた。この機会に訂正し、おわび申し上げます。
- (6)貯蔵穴の存在が予想される部分については、カマドの発掘で用いられるように、限定的に遺構を覆う(床面上層)覆土をみなしで掘り残し、貯蔵穴内との連続的な土層断面を把握する工夫は取れないものだろうか。時間の制約下において厳しいことは察して余りあるのだが。
- (7)第6図の2例は、貯蔵穴間の区画に違いがあるが、両者とも「1cあ」の合体形と見做してよいと考える。
- (8)そのような眼で小倉による区分図(本稿第1図)を再確認すると、エリアCには貯蔵穴が組み込まれる一方、Dに出入口の図示はない。C・D境界は、A・H、E・D境界に比べ中軸線に寄っており、全体のシンメトリーな調和を破っているのがわかる。抽象概念の中で実際を視野に入れた仕掛けだろう。土堤「1bあ」は、C側から出入口ピットを越えてEに寄る例もあり、C・D境界は不安定、つまりDの存在がそうだと言える。

凡例

2段：貯蔵穴形状、本文参照

軸：住居跡中心軸

隅：エリアコーナー部

浅古：2段のうち浅い方の覆土が切り込まれる(古い可能性)

深古：2段のうち深い方の覆土が切り込まれる(古い可能性)

想定：報告書に記載がなく筆者が図から存在を想定したもの

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献
白幡本宿	県教委	1	末初		x	60	?	30	一部のみ	x	1
		3	末初	軸脇	○	35	35	24	1aう	x	
		4	末初	土堤に土壤、C隅	○	60	55	25	1cあ	x	
		1	古		x	35	30	20	1bお	x	31
	市調査会1	1	古	2段エ	x	55	45	45	x	x	45
稲荷台	遺跡調査会	1	古		x	60	60	60	x	x	
		2	古		x	55	50	35	x	x	
		5	古		x	40	40	35	x	x	
		8	古		x	70	55	45	x	x	
		11	古	右脇	x	65	50	35	x	x	
		12	古		x	50	40	70	x	x	
	県事業团A区	24	古		○	70	70	45	x	x	
		29	古	土堤密着	○	40	35	40	1cあ	x	
		33	古	C隅	○	92	65	25	x	x	
		36	古	E(C)隅、2段エ、切合いカ	○	60	52	45	x	x	
		37	古	切合い	○	60	52	45	x	x	
		38	古		○	50	35	25	x	x	
	同B区	40	古		○	60	45	23	x	x	
		44	古	2段ア	○	60	50	55	x	x	
		48	古	軸上、2段ア・イ(浅古)	○	60	55	30	x	やや離れる、C隅	173
		49	古	軸上	○	70	58	45	x	脇、C隅	
		50	古		○	75	50	47	x	x	
		51	古	軸上	○	60	55	45	x	脇、C隅	
	同C区	53	古		○	72	60	15	x	脇、C隅	
		55	古	2段イ	x	70	37	80	x	x	
		57	古	2段ウ	○	30	25	15	x	x	
		58	古	袋状、軸脇	○	60	50	60	x	x	
		59	古		○	60	55	15	x	x	
		61	古	軸上	○	55	50	23	x	x	
西原	2地点	62	古	C前壁	○	45	45	20	x	x	
		72	古	C側壁	○	65	60	45	x	x	176
		75	古	C前壁	x	35	30	?	x	x	
		77	古	E隅	○	35	30	?	1cう	x	
		1	未初		x	68	48	65	x	x	3
		2	後	土堤出入口ピット直結	○	45	45	20	1aう	土堤脇	
県埋文	市教委	2	後	土堤出入口ピット直結	○	40	40	25	1bお	土堤脇・上	4
		4	?	P1を想定	x	35	30	10	x	x	
		7	古	P1、2段イ、軸脇	○	75	70	30	x	x	
		10	古	P1、C隅	○	45	40	20	x	x	
		12	古	P4を想定、C隅	x	50	30	20	x	x	
		13	古	P1、C隅	○	30	30	10	x	x	
		19	後	P1、C隅	○	70	45	8	x	x	
		20	未初	P5を想定	○	50	45	30	x	x	
		30	後	2段ア	○	75	45	25	1bい	x	178
		35	未初	P3、前壁密着	○	55	45	12	x	x	
		36	未初	P4を想定	○	30	25	15	x	x	
		37	未初	P1を想定	x	30	27	33	1bお	x	
下野田稲荷原	5次	39	未初	P5を想定、軸脇	○	65	55	35	x	x	
		42	後	P1、A区カ	x	110	75	15	x	x	
		43	後	P7、軸脇	x	80	45	20	1aう	x	
		44	後	P2、軸脇	○	80	55	25	1aう	x	
		29	未初		○	30	26	17	x	x	
		50	未初	C前壁密着	○	76	36	26	x	x	85
		38	後	2段オ、錐状深堀、D区	○	76	42	25	x	x	
		41	後	軸脇、壁密着	○	80	40	28	x	x	
		41	後	C側壁	○	75	41	26	x	2つの貯蔵穴周辺	
		51	古	2段イ(深古)	○	60	40	45	x	x	127
		53	後		○	60	57	8	1aう	x	
11次	7次	55	後	軸上	○	85	69	25	x	x	
		57	後		○	56	45	30	1cあ	土堤上・脇、C隅	135
		58	未初	土堤全周密着	○	54	48	19	1cあ	土堤脇・上	
		59	後		○	40	35	15	1cう	x	
		63	未初		○	49	30	23	1cあ	x	
		64	後	軸上、前壁密着	○	60	55	57	1bお	x	
		65	後	土堤出入口ピット直結	○	45	33	19	1bお	x	
		67	未初	軸脇	○	37	31	16	1bお	x	
		75	後	2段ア、部分錐状深堀	○	88	66	14	x	x	137
		62	未初	土堤瘤状に近い	○	46	44	31	1aう	x	
		77	未初	2段ウ	○	55	45	15	x	x	145
		79	未初		○	76	64	31	1cあ	x	
		82	後	2段オ、底部中央錐状深堀	○	55	50	53	1aう	脇	
		85	後		○	44	30	20	1bお(C側壁)	x	
		86	後	軸脇	○	55	46	22	1aう	x	
		88	後	C前壁密着	○	36	26	16	x	x	
		90	後		○	47	30	34	1aう	x	
井沼方	12次	82	後	土堤出入口ピットと主柱穴連結	○	54	48	54	1aう	x	
		99	後		○	47	43	14	x	x	
		100	後	C前壁密着	○	30	25	13	x	脇、C隅付近接着	146
		104	後	C前壁密着	○	33	30	10	1bい	x	
		107	後	軸脇	○	36	34	24	1cあ	x	
		108	後		○	43	39	16	1cい	x	
		109	後	A区	○	44	42	22	x	x	
		111	後	C隅	○	67	64	25	x	x	
		112	後		x	?	?	30	1cう?	土堤脇	
		114	後		○	50	39	26	x	脇、C隅	
		115	後	2段ア、土堤3条	○	74	67	40	3aい	脇から土堤裏う、C隅	
		117	後	軸脇、半壇	○	38	34	10	1cう?	x	
8次	13次	92	後	土堤内ピット連結	○	95	47	22	1aえ?	x	158
		142	後	2段ウ	○	43	43	41	1aう	x	
		1	後		x	25	25	10	x	x	14
		2	後		x	75	40	?	x	x	28
12次	14次	4	後		x	45	40	35	x	x	61
		31	後	厚10cmの焼土	○	47	47	5	x	x	
		33	後	軸上、前壁密着	○	65	48	13	x	x	
		41	後	2段オ(浅古)	○	104	54	35	x	x	
		45	後	理戻し、C隅に土壤	○	68	50	22	x	x	
12次	14次	53	後		x	40	35	12	1bあ	脇、C隅	

表1-1 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献
井沼方	22地点	後		C前壁密着	×	55	40	20	1c?	土堤端、C隅	6
		後		C前壁密着	×	30	20	?	1c?	×	
	13 ~ 15次	59	後	脇に瘤状の高まり2	○	44	38	26	瘤状	脇、瘤状隆起間	74
		64	後	土堤密着	○	40	33	23	1a?	土堤端・C隅間	
		72	後	底部中央に雑状深堀	○	30	30	22	×	×	
		16次	古	2段工、底部断面雑状	○	60	43	35	×	脇、C隅	70
	25地点	90	後		×	30	30	30	1bお	貯蔵穴と別隔	
	26地点	95	後		×	50	40	25	1cあ	土堤脇	7
井沼方南	4	後		土堤密着	○	75	75	22	1a?	土堤端、C隅密着	74
	5	後			○	33	33	14	×	×	
	4地点	12	後		×	48	33	30	1a?	土堤端・上	7
	16次	148	後		○	61	54	34	1a?	×	5
12B区	122	後			○	40	25	10	1a?	×	9
	121	後			×	42	35	20	×	×	
	51	後			×	42	35	20	×	×	
	134	後			×	50	50	15	1a?	やや離れる	11
	135	後			○	45	40	37	×	×	
	136	後		土堤密着	×	35	35	20	1cあ	×	
	137	後			○	25	25	7	3aあ	×	
	138	後		C前壁密着	○	50	50	35	1c?	土堤端	
	141	後		C前壁密着	○	60	50	22	1c?	土堤脇	
	145	後			○	60	40	25	×	×	
	62	後		2段才(深古)土堤密着	○	35	35	40	1c?	土堤脇	10
	124	後		C隅、2基で土堤挟む	○	35	35	40	×	×	
	126	後			○	35	35	?	1c?	×	
馬場北	5	後		軸脇	×	25	25	25	×	×	17
	7	後			×	40	25	15	×	×	
	10	後		軸脇	×	35	25	20	×	×	
	13	後		軸脇	×	40	40	25	×	×	
	15	後		C前壁密着	×	35	30	15	×	柱穴上	
	21B	後		2段工、E隅	×	35	20	25	×	隅ピット脇	
	24	後		C前壁密着	×	40	40	25	1bい	土堤端・上	
	37	後		軸脇	×	70	50	20	1a?	土堤脇	
	38	後		軸脇	×	50	40	45	×	×	
	43	後		軸脇	×	30	25	15	×	やや離れる	
	44	後			×	30	20	1a?	×	×	
	50	後		軸脇カ	×	60	45	30	×	×	22
	52	後			×	45	35	?	×	×	
	54	後			×	40	30	20	×	×	26
	59	後			×	50	30	25	×	×	
4次	28	後			×	40	25	20	×	×	29
	30B	後			×	35	20	20	×	×	
	73	後		2段才、軸上	×	120	70	40	1bあ	×	29
	75	後		2段才(浅古)、軸上	×	95	95	40	1cあ	×	
	81	後			×	70	60	40	1cあ	土堤脇(図示なし)	
	96	後		軸上	×	60	45	20	1cあ	土堤周囲(図示なし)	
	98	後			×	45	40	20	1a?	×	
	101	後			×	40	35	?	×	×	
	102	後			×	45	35	30	1bお	土堤周囲(図示なし)	
	77	後	P 7		×	85	70	30	×	脇、C隅・側壁	37
5区	105	後	P 4		×	81	61	25	×	×	
	106	後			×	50	40	35	×	×	
	107	後	P 1を想定		×	30	20	15	×	×	
	108	後	P 5を想定、軸上	○	49	38	12	×	×		
	110	後	P 6		×	30	25	31	×	×	
	111	中	P 2		×	44	44	35	×	×	
	112	後	P 1を想定		×	40	22	20	×	×	
	113	後	P 4を想定		×	50	35	25	×	×	
	118	後	P 2、C前壁密着		×	40	30	35	1a?	×	
	119	後	P 2、軸脇、C前壁密着		×	40	25	10	×	×	
別所子野上	1	後			○	50	45	10	×	脇	16
	4	後			×	30	25	30	×	×	
	5	後			×	40	40	20	×	×	53
	8	後	軸脇		○	70	60	20	1bお	土堤脇、C隅	
	10	後	土堤密着		×	50	40	20	1a?	土堤端、C区	
	11	未初			○	50	40	20	×	×	55
	12	未初			○	35	33	18	×	×	
	13	後			○	71	61	37	2aう	「祭台」の記載、C隅	
	14	後	2段(アカイ)		○	50	30	33	×	×	8
	15	後			×	40	35	15	1bえ	×	
松木	9次	16	未初	「1号貯蔵穴」C側壁	○	50	42	20	×	両貯蔵穴間、C隅	83
	10次	18	古	「2号貯蔵穴」軸脇	○	46	44	14	×	×	136
	22	古		蓋置きを想定	○	64	52	33	1bお	×	
	5次	2	中		○	70	70	20	1c?	×	
	3次	6	後		○	60	42	22	1cあ	土堤基部・上、C隅	9
	1	後			○	65	55	18	×	×	12
	2	中			×	58	50	40	×	脇	
	3	中			×	70	65	35	×	脇	
	4	中		2段イ	○	80	78	55・30	×	脇	18
	5	中			×	70	50	50	×	やや離れ	
大北	6	中			○	57	50	38	×	×	52
	1	中			○	49	46	26	2cあ	土堤脇	
	2	中			×	45	45	90	1cあ	×	13
	4A	古		土堤2穴を開む	×	45	38	60	1c?	×	
	10	古			×	70	56	65	×	×	
	12	古			×	35	35	20	1bい	×	
	3次	40	古	(区不明)隅密着	○	40	26.5	18	×	×	75
	1	古			×	60	40	30	1a?	×	15
	2	古		土堤3C連結	×	80	40	45	1cあ	×	
和田北	5	古		G区	×	80	70	90	×	×	18
	8	古			×	80	60	30	×	×	
	5区	2	後	報告書は柱穴とする	×	40	40	25	×	脇	18
	4区	4	後		×	44	30	25	×	×	21
西谷	11	古		A区	×	130	70	45	1a?	×	19
	54	中			○	50	45	25	×	やや離れる	38
	62	後			○	70	62	35	1a?	×	39
	63	後			×	44	34	15	×	×	
	61	後		断面雑状	×	30	30	44	1a?	×	51
	64	後			○	40	40	20	1bあ	×	
	76	後		C隅前壁	○	120	80	35	×	C隅側壁密着	
北宿	77	後			○	84	72	20	×	×	

表1-2 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献	
北宿	17次	78	後		○	46	38	38	×	x		
		80	後	軸脇	○	73	51	10	×	x		
		81	後	C隅	×	90	85	25	×	x		
		82	後	土堤削平の可能性有	×	52	52	20	?	x		
		98	後		○	36	18	17	×	x	貯蔵穴にかかる	
		84	後		×	80	35	40	1bあ	x		
		102	後	E隅	×	70	53	15	1bお	x		
		86	後	土堤幅広	○	70	50	55	1aう	x		
		87	後	上面に粘土	○	80	70	50	1bあ	x		
		96	後	2段オ、CかE	○	64	32	13	×	x		
		88	後	A区	○	50	35	30	1aう	覆土中		
		88	後	A区	○	43	33	34	1aう			
		89	後	C隅	○	39	35	14	×	x		
		93	後	土堤2条が貯蔵穴と小砂利それぞれ開く	○	45	45	29	1bお	C隅、土堤外縁		
		94	後	C前壁密着	○	30	25	13	×	土堤外縁、C隅内寄		
		95	後	平面L字形に歪む、土堤密着	○	120	65	30	2aう	x		
		97	後		○	68	50	10	2aあ	土堤端		
		98	後	C隅側壁寄	○	80	40	17	×	脇・上		
		99	後	軸上	○	52	50	51	1bい	土堤外縁		
		111	後	軸上	○	52	47	48	×	x		
		109	後	C隅	○	97	60	17.5	×	x		
		115	後	軸脇	○	60	35	34	×	x		
北宿西	1次	1	末初		×	125	55	40	1aう	x	30	
善前南	1次	1	後		×	46	38	46	1aあ	x		
		4	後	上層から台付堀	×	40	35	50	×	脇	20	
		5	後	軸脇	×	45	30	20	1aう	脇		
		6	古	軸脇	○	50	45	50	1bあ	脇接着、C隅側壁	129	
宮前	1次	3	後		×	38	38	10	×	ピット脇		
		4	後	P5	×	54	44	20	×	脇	21	
		2	後	2段ア、軸脇	○	60	50	40	×	x		
		3	後	軸上やや奥	○	20	20	20	×	x		
		4	後	断面錐状	○	40	40	70	1cあ	x		
		5	後	軸上やや奥	○	20	15	25	×	x		
		7	末初		×	50	40	40	×	x		
		8	後	C前壁密着	×	35	30	30	1aう	x		
		3次12区	1	後	軸脇、前壁密着	×	65	35	40	1bあ	x	
		3次15区	1	後	軸脇	×	60	45	16	1cあ	土堤脇・壇上	27
梅所	1次	3	後		×	45	40	40	×	脇	23	
馬場小室山	101区	1	後	廐絶時まで開口	○	80	40	45	1cあ	x		
古堀	2次	2	後	2段ア	○	75	42	40	×	x	24	
		1	中	中	○	78	78	28	×	x	27	
本塗	3地点	1地点	古	2段オ、柱穴に切られる	○	110	85	60	×	x	32	
		2地点	後	土堤密着	○	53	53	42	1cあ	x		
		5	古	2段(深古)	○	105	80	55	×	x	43	
		6	古		○	45	45	45	×	x		
		8	古	下層から土器多、A区	×	42	42	51	1bあ	x		
		9	古	柱穴にも土堤	○	78	73	37	1aう	土堤重複、C隅	47	
		11	古		○	50	38	19	×	x		
		12	古	上層から瓶、中に貝壳穴痕泥岩	○	55	43	36	1aう	x		
		6地点	古	G区、付近に床仕切溝	○	70	60	19	×	x	56	
		7地点	古	「1号貯穴」2段ア、A区	○	55	55	35	×	x	69	
上野田西台	3次	8地点	古	「1号貯穴」2段ア、A区	○	54	50	60	1cあ	x	84	
		1	中	(区不明)隅	×	95	65	15	×	x		
		2	中	2軒重複により同上	×	100	90	35	×	x		
		3	中	軸脇(E寄)	○	90	80	50	×	x		
		4	後	軸脇	○	60	40	35	1cう	土堤脇		
		5	中	軸脇	×	70	65	20	1cう	x		
		8	後	軸脇、前壁密着	×	40	40	15	×	C側壁		
		11	中	軸脇	○	40	35	35	×	x		
		12A	中	E区	○	75	60	80	×	x		
		12B	中	土堤密着、E隅	○	70	60	50	1cあ	x		
		13	後		○	42	35	10	×	脇、C隅内寄り		
		14	中	C隅前壁	○	80	63	24	×	x		
		15	中	土堤密着、C隅前壁	○	55	45	15	1cあ	x		
		18	後		○	54	47	22	×	脇、C隅		
		19	中		○	53	50	36	×	x		
		20	中	土堤密着、軸脇	○	61	61	43	1aう	x		
		21	後	軸脇	○	68	68	43	1bお	x		
		22	中	E隅	○	65	65	33	1aい	?		
		23A	後	軸脇	○	48	32	28	1bお	x		
4次	4次	24	後	軸脇	×	23	23	30	×	C側壁		
		25	後	軸脇	○	60	60	47	1cう	x		
		26	後	C前壁密着	×	70	40	13	×	x		
		28	後	C隅	×	45	33	7	×	x		
		29	後	土堤密着	○	59	50	24	1aう	x		
		32	後	軸脇	○	43	27	23	×	x		
		33	後		×	40	40	10	×	x		
		34	古	軸脇、前壁密着	×	30	30	8	×	x		
		35	後	軸脇	○	47	47	20	×	x		
		36	後	軸脇、前壁密着	×	38	38	7	×	x		
本村	1次	3	後	2段オ	×	80	60	?	×	x	34	
瀬ヶ崎前島	1次	1	後	土堤密着	×	60	40	35	1cあ	x	36	
日向北	4次	2	後	2段オ	○	84	54	30	1aい	x		
		3	後		○	110	70	26	1bい	x		
		4	後	2段イ(深古)	○	80	70	15	×	x	40	
		6	後	土堤密着	×	50	50	65	1cう	x		
		15	後	土堤密着、軸脇	○	76	66	34	1cう	土堤脇		
		17	後	軸脇	○	39.5	36	20	1aう	x		
		19	未初		○	72	52	18	1bい	x		
		20	後	2段ウ	○	74	53	10	1aう	土堤脇、C側壁		
		21	未初		○	42	40	20	×	x		
		22	未初		○	64	50	24	1cう	土堤脇		
		23	未初		○	44	41	71	×	x		
		24	後	軸脇	○	51	51	16	×	x		
		29	未初	C隅	○	54	47	36	1bあ	x		
		32	後	重複が顕著	○	49	38	30	×	x		
		38	後	P16を想定	×	28	22	46	×	x		
		40	後	複数重複、土堤密着	○	66	52	26	1aう	x		
		43	後	軸脇	○	50	50	36	1bお	土堤脇、C隅		
		44	後		○	56	34	19	×	x		
		45	後		○	32	30	20	1aう	x		
		49	未初		○	46	32	23	1bあ	土堤端		
		51	後	土堤密着	○	60	57	30	1cあ	土堤脇・上		
		54	後	軸脇	○	44	36	30	1aう	x		

表1-3 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土壤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献	
日向北	4次	57	未初	C隅	○	56	40	8	×	x		
		59	後	軸脇	○	55.5	42	2.5・5	1aう	x		
		64	後	軸脇	○	60	46	26	1aう	x		
		67	後	軸脇	○	50	40	17	x	x	156	
	5次	69	後	C前壁密着	○	30	30	11	x	x		
		72	後		×	35	30	18	x	x		
		74	後		○	32	30	27	1aう	x		
		1次	2	未初	×	50	50	33	×	x	41	
大間木会ノ谷	2次	8	古	大量焼土、台付甕出土	○	90	90	47	x	脇、C隅、重複 土堤端、C隅	46	
		11	後		○	60	45	37	1cあ			
		15	古	2段ア	○	95	83	50	x	土堤脇	50	
		40	古		○	25	20	24	x	x	86	
	3次	1	後		○	40	35	25	x	x	42	
		2	古		×	70	55	95	x	x	72	
		1	古	覆土中層から高杯	○	38	34	40	x	x	48	
		7	古	C区	×	99	81	10	x	x	49	
大久保領家片町	1地点	9	古	2段工(浅古)	○	150	85	35	x	x	54	
		11	古	2段才	○	67	60	15	x	x		
		12	古	2段才、C隅密着	○	118	90	47	2aい	x	64	
		13	古	2段(浅古)	○	117	80	50	x	x		
	7地点	2	古		○	62	50	36	x	x	71	
		39	古	2段ア、軸脇	○	61	59	40	x	x	123	
		42	古	2段ア・イ・エ	○	130	80	35	x	x		
		44	古	「貯蔵穴1」	○	75	55	15	x	x		
	13地点	45	古	「貯蔵穴2」2段工?	○	100	75	25	x	x	126	
		46	古	2段才(浅古?)	○	65	50	35	x	x		
		47	古	2段工?	○	100	60	35	x	x		
		4	古		×	60	60	45	x	x		
上大久保新田	1次	5	未初		×	35	35	40	x	x		
		6	古		×	45	40	?	x	x		
		10	後	底から壇上半	○	75	55	22	x	x		
		13	古		×	70	55	?	x	x		
	2次	19	後	土堤密着	○	68	50	28	1bい	x		
		24	未初		×	50	50	30	x	x		
		27	古	2段工、浅部長大	○	90	38	20	x	x		
		30	古		×	140	80	35	x	x		
下大久保新田	4次	31	古		×	90	90	45	x	x		
		2	古	2段ア(浅古)、A1区	○	80	62	40	x	x	73	
	3次	3	古	2段イ	○	95	55	40	x	x		
		7	古	土堤貯蔵穴から疊離	×	46	42	47	1aう	脇	58	
中原後	2次	山久保	3次	芝原		○	70	60	45	x	x	59
					×	48	48	95	○	x	60	
白幡上ノ台	4次	3	後	炉に土堤	○	60	40	20	x	C隅		
		4	後	軸上	○	56	40	15	x	x	62	
水深	1次	5	後	2段ア(深古)	○	45	40	22	x	x		
		1	古	C隅	○	80	80	50	x	x	63	
		3	古		○	85	75	55	x	x		
		5	古	(区不明)隅	○	60	60	12	x	x		
	2次	10	古	2段イ	○	100	80	34	x	x	66	
		14	古	住居覆土が載る	○	90	90	?	x	x		
	4次	16	古	土堤並行して2条	○	64	48	40	1aあ	x	76	
		17	古	深3cmの掘込みで連結	○	42	36	38	x	x		
		18	古	擾乱で不明瞭	○	54	50	60	x	x	80	
		19	古	「貯蔵穴1」E1区	○	74	65	4	壁際ベッド状	x		
水深北	1次	1	古	「貯蔵穴2」G区、土堤幅広	○	78	70	26	1aえ	x	63	
		2	未初	「貯蔵穴1」、C前壁密着	○	50	42	42	1cあ	脇、C隅		
大崎北久保	1次	3	未初	「貯蔵穴2」、2段才、H区	○	56	48	4	1cあ	x		
		4	古	P7	○	48	48	33	x	x		
		6	古	(区不明)隅	○	72	60	6	x	x		
		7	古		○	48	48	34	x	x		
	4次	9	古	2段才、C隅密着	○	140	52	40	1aう	x		
		10	古	軸脇	○	53	41	26	1cう	土堤外縁、C隅		
		1	後	A隅	○	85	52	32	x	x		
		2	後	軸脇、前壁密着	○	68	43	14	x	x	68	
東裏	3次	3	後	C前壁密着	○	90	60	26	1cあ	土堤合め覆う		
		3	後	軸脇、C前壁密着	○	128	48	20	x	土堤合め覆う		
		19	中	(区不明)隅	○	50	50	60	「1cあ」が「2d」	x	120	
		47	中		○	80	80	80	1cあ	x		
	6次	2	後	軸脇、土堤密着	○	55	45	30	1aう	○	77	
		4	後	軸上、壁密着	○	36	36	28	x	やや離れ、C隅	82	
	4次	5	後	前壁密着	○	48	48	21	x	x		
		7	後	軸脇	○	69	45	10	x	x		
		8	後	C隅	○	40	30	10	x	x		
		9	後	C隅	○	76	66	10	x	x		
		10	後		○	82	78	40	x	x		
		11	後	C隅	○	50	32	30	x	x		
東裏西	4次	14	後	C隅	○	44	36	7	x	x		
		16	後	2段工	○	61	45	13	x	x		
		21	後	P6	×	42	42	34	1aう	x		
		25	後	炉不明だが軸上カ	○	52	50	26	1cう	x		
		26	後	同上	○	50	50	36	1cう	x		
		27	後	C・D前壁密着	○	150	42	5	1aう	x		
	3次	30	後	C隅	○	72	48	18	x	x		
		32	後	軸上、前壁密着	×	60	50	31	x	x		
		2	中	2段ア・ウ、軸脇、壁密着	○	95	70	25	x	脇、C隅付近		
		13	中		○	64	55	52	x	脇、C隅付近		
太田窪貝塚	1次	1	古	断面V字	○	74	62	52	1bあ	脇、C隅密着		
		3	古	底部中央錐状深堀、軸上	○	68	60	70	x	x	78	
西堀上ノ宮	1次(須黒神社)	14	古	軸脇	○	65	50	43	x	脇、C隅付近		
		15	古		○	50	48	23	x	脇		
		2	後		○	60	35	?	x	x		
		21	後		○	40	30	22	x	x		
	2次	24	後		○	85	67	38	x	x	171	
		47	後	土堤内の覆土切る	○	45	40	17	1cあ	x		
	3次	4	後	軸上、壁密着	○	50	50	30	x	x	79	
		7	後	軸脇、壁密着	○	40	30	30	x	x		
		12	後		○	35	32	22	x	x		
		2	後	軸上	○	43	43	35	1bい	土堤端		
3次	3	未初	軸脇、壁・土堤密着	×	45	45	30	1cう	x			
	4	未初		×	45	35	18	1bお	x		128	
	8	古	C隅	○	35	35	12	x	x			
	9	後	2段イ・エ、軸脇	×	83	57	30	x	x			

表1-4 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯藏穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯藏穴との位置等)	文献	
行谷	2次	3	古		×	70	48	8	×	脇	81	
		4	後		×	57	50	23	2bえ	土堤含め半ば覆う、C隅		
		6	後		×	37	33	37	1cう	土堤端		
		7	後	軸上	×	42	30	37	1bあ	×		
		8	古	2段ア(浅古)、土堤出入口ピットに連結	×	50	45	34	1aう	土堤端、C隅		
		11	後	軸脇、壁密着	×	40	35	16	×	×		
高台山	1次	1	後		×	44	40	29	×	×	87	
		2	後		×	35	30	21	×	×		
宮ヶ谷塔遺跡群	1次	16	後	P 9、2段オ、E隅	○	65	50	48	×	×	88	
				P 8、C隅	×	74	47	62	×	×		
		18	後	P 3、土堤密着	○	30	30	35	1aう	×		
				P 4、袋状、E隅	×	55	45	30	×	×		
染谷遺跡群	1次	S-1	古	P 3、軸脇	×	30	30	33	1bあ	×	89	
		S-9	後		×	60	60	40	×	×		
				P 2	×	30	26	41	×	×		
		S-17	後	高杯出土	×	50	35	20	1bvi	脇、C隅		
		N-7	末初	(区不明)壁密着	○	106	80	130	×	○		
		N-9	後	C前壁密着	×	50	40	25	1bお	×		
		N-10	後	P 2を想定	×	40	30	48	×	×		
		N-13	末初		×	35	35	5	×	×		
藤子八幡神社	1次	3 A	後		×	65	54	42	×	×	90	
鎌倉公園	調査会	13	末初	2段ア(浅古)	×	85	55	34	×	×	91	
		15	後	P 3	×	45	35	18.5	×	×		
		16	古	P 5、E区	×	65	60	65.5	×	×		
		17	後	P 12	×	50	35	30	×	×		
		18	後?	P 5、P 6と並列	○	57	45	29	×	×		
				P 6、軸脇	○	60	40	22	×	×		
		19	後	P 20を想定	○	85	75	27.5	×	×		
		20	後	P 5	×	45	42	20	×	×		
		21	古	P 5を想定	×	30	20	9.5	1bう	×		
		22	後	P 5を想定	×	75	80	21	×	×		
		26	古	P 3、2段ア、土堤密着	×	70	70	29	1cう	土堤周囲、図示なし		
		27	未初	P 8を想定	×	50	45	63	1cう	土堤脇		
		32	未初	P 8を想定、土堤図示なし	○	40	30	61	1cう?	×		
		33	未初	P 6	×	60	55	54	×	×		
		2次	2	後	E隅付近	×	60	45	44	×	×	125
				軸脇、前壁密着	×	40	40	32	×	×		
深作東部遺跡群	B区	24A	後	P 4、2段ア、完形壺	○	100	100	17	×	×	92	
	C区	26	後	P 3、C隅	○	75	75	21.1	×	×		
		12	後		×	68	60	41	×	×		
原	1次	1	後		×	73	58	23.5	1bお	×	93	
		3	後	E隅、袋状	○	30	30	30	1aう	×		
八幡耕地	1次	6	後	C区、袋状	○	40	40	30	1aう	×	94	
		14	後	炉なし、CかE区	○	96	96	30	1aう	×		
北袋	1次	16	後		×	65	50	30	1aう	土堤端	95	
		Y-2	後	P 7、軸脇	×	50	40	20	1bお	×		
		Y-3	後	P 3、土堤密着	○	50	50	21	1bお	×		
		Y-5	後	P 4、壁側袋状、土堤密着	×	52	44	28.7	1bお	土堤外縁		
		Y-6	後	P 6、土堤密着、軸脇	×	70	46	10	1aう	×		
		Y-7	後	P 2、軸脇	○	50	50	50.5	1bあ	×		
		Y-8	後	P 6	○	52	50	37	1bあ	×		
		Y-10	後	P 6、2段ア、C隅に粘土埴、上に焼土	×	112	87	40	1aう	×		
		Y-12	後	P 3、2段ア	○	70	56	32.4	1bお	×		
		Y-13	後	P 4	×	68	56	20	1aう	×		
		Y-20	後	P 3	×	21	12	7.5	1aう	×		
		Y-21	後	P 11、軸脇	×	43	39	26.9	1bあ	×		
		Y-22	後	P 10、C隅カ	×	60	54	28	1aう	×		
		Y-27	後	P 3、底部錐状深堀、軸脇	×	50	48	64.1	1cあ	×		
		Y-28	後	P 3	×	60	46	13.7	1aう	土堤端		
北袋新堀	2次	10	後	P 5	×	85	60	10	1aう	×	151	
		18	後	P 2 Cか前壁密着	×	85	70	10	1aう	×		
A-61	1次	1	後		×	70	40	8	1aう	脇	96	
		3	後	完形小堀出土	×	65	60	20	1aう	脇/上		
		6	後	土堤密着	×	45	40	27	1aう	土堤脇		
		7	後	P 2	×	40	40	25	1aう	脇/やや内寄り		
		8	後	2段ア	×	70	50	45	1aう	脇		
		9	後	2段ア	×	70	50	45	1aう	脇		
		11	後	P 6、D前壁密着	×	70	60	25	1aう	離れる、C奥		
		13	未初	P 3、軸脇	×	45	40	22	1aう	脇、上に粘土		
		14	未初	P 2、C前壁密着	○	35	30	17	1aう	脇		
		15	未初	P 4、軸脇	×	60	55	27	1aう	×		
		16	後	P 2	×	65	60	16	1aう	×		
		17	後	P 3、4、2段工、前壁密着	×	60	30	27	1aう	離れる、C側壁側		
		19	後	P 3	×	115	60	28	1aう	脇、C側壁側		
		23	後	P 5	○	60	60	30	1aう	脇、C側壁側		
南中丸下高井	1次	24	後	P 3、軸脇	×	50	45	45	1aう	一部重複、前壁側	112	
		27	後	P 2、底部中央深堀	×	52	50	13.37	1aう	×		
御藏山中	1次	1	古		×	40	40	81	1aう	脇	97	
		Y-1	中		○	70	65	40	1dあ	×		
		Y-2	中	E区	○	130	115	120	2cあ	×		
		Y-3	中	E区	×	70	65	29	1aう	×		
		Y-4	中	E区	○	65	55	45	1cあ	×		
		Y-5	中	E区	×	60	58	38	1cあ	×		
		14	古	P 3、軸脇、壁密着	×	78	65	40	1aう	脇、赤白小石	110	
		15	古	P 3、2段オ、壁密着、上層に器台	×	56	45	28	1aう	脇、C隅		
		8	後	P 8、2段イ、C隅・前壁密着	○	95	40	22	1aう	別のピット上	99	
		10	後	P 9、C隅密着	×	50	50	20	1aう	×		
三崎台(A-239)	2次	11	後	P 3	○	60	45	25	1aう	×	109	
		19	未初	軸脇、土堤密着	×	70	70	20	1bお	土堤脇C隅		
		20	後		×	60	50	20	1bお	×		
		26	後	P 3	×	30	20	14	1bお	×		
		28	後	土堤密着	×	140	90	30	2aお	C側壁、土堤端上		
		30	後	P 3	×	55	47	24	2aお	×		
		31	後	P 1を想定	×	35	30	?	1aう	×		
		32	後	P 3を想定	×	30	30	23	1aう	×		
		33	後	軸脇、壺出土	×	53	50	20	1bお	×		
		35	後	P 1	×	40	40	40	1bお	脇		
		37	後	幅広土堤密着	×	102	62	25	1bお	脇		
		39	後	2段工	×	60	40	?	1aう	×		
		40	後	P 3、奥側にベッド状高まり	×	70	45	?	1aう	×		
		42	後		×	50	35	25	1aう	×		
		43	後	P 4・5	×	55	30	19・17	1aう	×		
		47	後		○	30	30	?	1aう	×		
		51	後	P 7	×	65	50	22	1aう	×		
		52	後	壁密着	○	65	40	30	1aう	脇、C隅		

表1-5 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献
B - 7	1 次	Y-1	後	〔P3〕、軸上	×	60	40	9	1bえ	x	
		Y-2	後	〔P4〕	○	70	55	21	1cあ	脇、C側壁側	
		Y-3	後	P 8	×	60	50	10	x	x	
		Y-4	後	P 3	×	40	30	24	x	x	
		Y-5	後	P 6	×	50	50	17	x	x	
		Y-6	後	P 3	×	55	40	25	x	x	
		Y-7	後	P 6	×	55	40	27	x	x	
		Y-11	後	P 6	○	70	60	20	x	x	
		Y-12	後	P 3	○	40	33	19	x	脇、C側壁側	
		Y-13	後	P 2、軸脇、壇状土堤密着	×	50	50	21	1aお	x	
		Y-14	後	P 6、軸上カ	○	75	45	33	1aえ	x	
		1	後	P 4	○	60	50	37	x	x	
		2	後	P 6	○	40	30	11	x	x	
		8	古	2段才、完形甌出土	○	85	50	35	x	x	
		9	古	2段才	○	70	50	22	x	x	
深作稻荷台	2・3次	13	古	軸上カ、(区不明)壁中央、2基並ぶ	○	65	50	?	1bあ		
		19	古	P 3、2段イ(深古)、C隅密着	○	85	80	60	1aう	離れる、C側壁側	
		21	古	P 12	○	65	58	33	x	x	
		25	古	P 6、軸脇奥	×	63	48	28	x	x	
		26	古	P 7、軸脇壇際	○	48	44	24	x	x	
		27	古	P 7、C隅	○	60	46	17	x	x	
		28	古	P 11、軸脇	×	70	62	41	x	x	
		29	古	P 1、2段ア、A区	×	65	60	44	x	x	
		30	古	P 4、2段ア、小砂利かぶる	○	45	40	29	x	覆う	
		31	古	P 4	○	35	33	23	x	やや離れる、C隅	
B - 66W	1 次	1	古	P 4	○	74	70	47	x	x	
		2	古	P 2、E隅、廃絶時間口	○	90	70	82	x	x	
		4	古	P 6、E隅	○	85	70	48	x	x	
		5	古	2段才、E隅、報文に粘土蓋の指摘	○	90	90	42	x	x	
		8	古	P 2、2段ア・イ・エ、軸脇	○	85	60	45	x	x	
		9	古	P 3、2段才、E隅	○	80	78	50	x	x	
土屋下	1 次	1	後	P 2	×	45	40	20	x	記述のみ、詳細不明	
		2	後	P 4	×	40	32	33	x	脇中寄り	
		19	後	P 9、2段ア	×	104	88	35	x	x	
		22	後	P 18、2段ア	×	88	54	37	x	x	
		23	後	P 13、2段イ	×	76	52	21	x	x	
		27	後	P 1、2段才、断面築状	×	88	62	33	1bお	x	
		28	後	P 8	×	60	52	16	x	x	
		30	後	P 33	×	62	56	22	x	脇	
		38	後	P 4	○	73	60	41	x	x	
		40	後	P 20	○	40	36	27	x	挟むよう に 2か所	
		42	後	P 3、2段ア	○	68	54	19	x	x	
		43	後	P 12	×	70	50	29	?	x	
		45	後	P 4	○	78	63	73	x	隅部挟む	
		50	後	P 9、2段ア、断面箱形	×	130	100	24	x	x	
		56	後	P 33	×	62	54	22	x	x	
		58	後	P 12	×	84	70	12	x	x	
		59	後	P 7、2段イ、E区	×	65	60	37	x	x	
A - 146	1 次	3	未初	P 3・4、2段ア、C前壁密着	×	48	40	30	x	x	
		8	未初	(区不明)壁密着	○	50	45	25	x	周開一面	
A - 147	1 次	1	後	A隅	×	53	43	14	1aう	x	
		2	後	P S を想定	×	92	63	11	x	x	
B - 61	2 次	3	古	C隅、土器多數	○	75	73	52	x	x	
		1	古	E区	×	95	95	59	x	x	
峰岸北	1 次	3	古	P 11	×	60	55	40	x	x	
		9	古	E区	×	85	50	14	x	x	
		11	古	P 4	×	60	50	44	x	脇	
		21	古	2段才	×	90	80	58	x	脇	
大和田本村北	2 次	3	中	P 6	×	60	50	48	x	x	
		4	中	P 3、2段工	×	80	65	25	x	x	
		6	中	P 24、一部堆状深掘	×	75	65	60	x	x	
		7	中	P 6、C隅	×	70	60	23	x	x	
		8	中	P 23、E区	×	70	65	18	x	x	
下加南	1 次	10	中	P 15・16、2段ア、埋土に小砂利	×	135	55	19・58	x	上・脇、C隅	
		4	古	E隅か	×	65	56	68	x	x	
		5	古	主柱穴の可能性有	×	45	30	43	x	x	
		6	古	C隅か	×	48	45	48	x	x	
		7	古	C隅	×	72	60	45	x	x	
		11	未初	A区、壁密着	×	65	45	25	x	x	
		12	未初	壁密着	×	55	47	30	x	x	
吉野原	1 次	14	未初	55	45	20	x	x	x	x	
		15	未初	○	60	48	25	x	x	x	
		1	未初	軸脇	×	77	62	86	x	x	
		2	未初	壁密着	×	45	37	10	x	x	
		4	未初	軸脇、壁密着	×	74	55	20	x	x	
		5	未初	○	35	35	20	x	x	x	
		6	未初	軸脇、壁密着	×	57	49	45	x	x	
		7	未初	軸脇、ベッド状遺構	×	60	50	50	x	x	
		8	未初	軸脇、壁密着	×	50	50	20	x	x	
		10	未初	○	60	40	30	x	x	x	
中里	1 次	11	未初	A区、壁密着	×	65	45	25	x	x	
		12	未初	壁密着	×	55	47	30	x	x	
		14	未初	○	55	45	20	x	x	x	
		15	未初	○	60	48	25	x	x	x	
		3	後	○	65	50	15	x	x	x	
中里前原	3 次	4	後	○	85	50	20	x	x	x	
		1	後	×	95	50	20	x	x	x	
		2	後	×	55	35	12	x	x	x	
		3	後	×	60	40	26	x	x	x	
		4	後	2段イ	×	50	35	50	x	x	x
中里前原	1 次	3	後	P 5	×	50	50	30	x	x	
		5	後	P 5、壺転用土製品出土	×	55	43	20	x	x	
		9	後	P 4、小型壺、軸上	×	50	40	?	x	x	
		10	後	P 5	×	40	36	31	x	x	
		2	後	○	49	40	33	x	x	x	
	2 次<B地点>	4	後	×	47	28	30	x	x	x	
		5	後	○	55	25	20	x	x	x	
		6	後	○	50	30	24	x	x	x	
		7	後	軸脇	×	107	58	27	x	x	
		8	後	軸脇カ	×	25	25	20	x	x	
中里前原	3 次	9	後	○	43	36	37	x	x	x	
		1	後	軸脇	×	50	24	24	x	x	
		3	後	軸脇	○	48	38	25	1cい	x	
		5	後	2段ア(深古)、軸脇	×	100	96	27	x	x	
		6	後	B区カ	×	67	55	21	?	x	
		7	後	2段ア(浅古)土堤密着	×	125	100	37	1f	x	
		10	後	軸脇、壁密着	×	64	64	42	x	x	

表1-6 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献
中里前原	3次	11	後	2段ア	×	84	63	27	×	×	180
		15	後	壁密着	×	76	47	22	×	×	
		17	後		×	56	51	33	×	×	
		18	後	軸脇	×	55	55	38	1 bい	×	
		19	後	小型鉢出土	○	45	45	20	1 aう	×	
		20	後	軸脇	○	60	60	26	1 aう	×	
中里前原北	1次	1	後		○	120	86	36	×	×	118
		2	後		×	44	38	34	×	臨	
		3	後	G区	○	100	75	32	×	脇	
		4	後	A区	○	126	110	46	×	×	
		2次	後	軸脇	○	65	50	20	1 cう?	×	
		3次	後		○	90	70	45	1 bお	土堤基部・C隅	
B-3	2・3次	5	後	2段ア	○	60	41	29	1 aう	×	121
側ヶ谷戸貝塚	4次	1	後	軸脇、壁密着	○	50	45	6	×	C隅	122
二度栗山(1次)	1次	4	後	土堤	○	45	30	16	2 aい		124
中尾縁島	3次	6	後		○	43	43	14	×		130
大谷場小池下	1次	2	後	2段ア、土堤密着	○	78	55	32	1 aえ	×	131
		1	後	2段ウ、軸脇	○	30	30	16	×	×	
		2	後		○	35	30	16	×	×	
		3	後		○	45	45	30	×	×	
		9	後	2段オ(深古)	○	58	45	10	×	×	
		12	後		○	40	40	30	×	C側壁側一面	
		13	後		×	35	35	19	×	脇、C区	
		14	後	2段ア	○	50	40	35	1 aう	土堤脇、C隅	
		15	後		○	30	30	35	1 aう	×	
		17	後		○	50	34	23	1 cあ	土堤端上・脇、C隅	
西浦1号	1次	2	古	E区	×	70	66	102	1 cい	×	132
	3次	1	中	石斧出土	×	80	75	?	×	×	
札の辻	県事業団	1	後	P 1	×	30	30	23	×	×	170
		2	後	P 4	×	40	30	16	×	×	
		3	後	P 6、C隅	×	40	30	15	×	×	
		4	後	P 5	×	30	30	15	×	×	
		5	後	P 6	×	50	45	18	×	×	
		7	後	P 6	×	45	35	21	×	×	
		15	後	P 5、軸脇	×	35	35	23	×	×	
		16	後	P 6、軸脇	○	65	45	36	1 cあ	×	
		17	後	P 3、軸脇	○	35	30	21	×	×	
		23	後	P 4、軸脇	×	50	50	28	×	×	
		26	後	P 6、C隅	○	40	25	14	1 cい	×	
		33	後	P 4、断面V字	○	55	35	26	×	×	
		34	後	P 6、2段ア	×	95	85	39	×	×	
		35	後	P 5	○	35	30	27	×	×	
		36	後	P 2	○	45	40	13	残欠	×	
		37	後	P 2	×	35	30	9	×	×	
		38	後	P 6	○	45	45	36	×	覆土に載る	
		39	後	P 1	○	40	30	27	1 cあ	×	
		41	後	P 6	○	40	35	28	×	×	
		42	後	P 5	○	45	45	35	×	×	
		43	後		○	23	20	10	×	×	
		45	後	P 2、軸脇	×	40	30	27	×	×	
		50	後	P 6、袋状、軸脇	○	55	45	27	×	×	
		51	後	P 6(新)軸脇	○	45	40	21	×	×	
		51	後	P 7(古)	○	40	35	32	×	×	
		52	後	P 7	○	40	40	29	?	×	
		54	後	P 5	×	45	40	19	×	×	
		55	後	P 5、C隅	×	35	30	19	×	×	
		58	後	P 5	○	55	45	34	×	×	
		59	後	P 5	○	52	50	30	×	×	
		60	後	P 6	○	60	55	25	×	×	
		61	後	P 6、軸脇、壁密着	○	70	40	25	1 aう	×	
		64	後	P 1	○	50	40	24	×	×	
		69	後	P 2	×	40	35	46	?	×	
		72	後	P 6	○	65	57	42	1 cい	C側壁側、土堤端	
		74	後	P 1	○	55	35	29	×	×	
		76	後	P 1	○	40	35	15	×	×	
		7	後	P 1、A区	×	30	30	21	床一面	×	133
		8	後	2段ア、土堤密着	○	65	52	65	1 aう	×	
		12	未初	2段オ、土堤密着	○	120	70	40	1 aう	貯蔵穴浅部脇	
八王子前原西	1次	1	古	軸上	×	65	55	?	×	×	138
南中野渕訪北	4次	33	後	軸脇	○	72	68	30	×	×	139
宿宮前	7次	3	後		○	60	48	12	×	×	140
中川稲荷山	2次、3次1・4地点	24	後	軸脇	○	56	46	18	×	×	141
立葉	2次	1	後	C前壁密着	○	42	42	40	×	×	150
		2	後	2段ア	×	42	28	32	×	×	
		4	後		○	60	40	14	临、一部重なる	×	
		5	後		○	55	45	55	×	×	
		6	後	C側壁寄	○	24	24	90	×	×	
		7	後		○	55	30	16	×	×	
		8	後	2段ア、軸脇	○	45	40	32	3 aあ	土堤脇	
		9	後		○	30	26	15	×	临	
		12	後	底部複数深堀、A区	○	170	160	60	1 bお	×	
		13	後		○	50	40	20	1 aあ	×	
		15	後		○	86	66	40	1 aえ	临	
		16	後	2段ア	○	80	60	75	×	临	
		17	後		○	50	40	11	1 aい	脇・やや離れる	
尾ヶ崎新田深町西	1次	1	古	「貯蔵穴1」C隅	○	80	39	6	×	×	143
		2	後	「貯蔵穴2」D隅	○	90	80	40	×	×	
下野田本村	5次	3	後	P 1	○	35	25	18	×	×	145
		4	後	P 1、軸脇、壁密着	○	45	38	25	×	×	
		6	後	P 1	○	60	45	23	×	×	
		8	中		○	102	94	60	×	×	
		11	後	C前壁密着	○	50	48	24	×	×	
		13	後		○	48	39	10	×	×	
		14	後	軸脇	○	40	36	24	1 cう	×	
		15	後	2段ウ	○	88	62	21	×	C区に帶状分布	
		16	中	P 3を想定、軸上	○	61	54	29	×	×	
		20	中		○	62	50	14	×	×	
		21	後	2段イウ中間(深古)	○	30	28	20	×	×	
		23	中		○	74	54	34	×	×	
		25	中		○	38	38	24	×	やや離れた脇	
		31	後		×	30	25	28	×	×	

表1-7 遺構一覧

遺跡名	調査地点	遺構	時期	貯蔵穴・周辺状況	覆土断面	長径	短径	深さ	土堤	小砂利(貯蔵穴との位置等)	文献
下野田本村	7次	6次	中		○	52	47	44	×	x	145
		39	後		○	52	42	22	2bい	x	
		41	後	2段ア、C前壁密着	○	54	56	20	1aう	x	
		42	後	「貯蔵穴1」C隅	○	41	34	24	1aう	x	146
	8次	42	後	「貯蔵穴2」C前壁密着	○	46	40	30	1aう	x	
		43	後	(区不明)隅	○	40	25	6	×	x	
		30	中	軸脇	○	70	47	24	×	x	
		44	中		○	26	24	20	2aい	x	
中野田中原	1次	18	後	2段ア	○	60	40	98	×	x	
		23	後		×	67	49	10	2aう	x	
		24	後	土堤密着	○	62	56	16	2aあ	x	
		25	後	軸脇、前壁密着	○	50	50	18	1aう	x	
		32	後		○	65	58	28	1aい	x	
	2・3次	33	後		○	57	54	27.5	1aう	x	
		34	後	軸脇、前壁密着	○	48	34	41	×	x	
		36	後	C前壁密着、土堤密着	○	42	39	10.6	×	x	
		37	後	「1号貯」(新)	○	56	52	20	1aお	x	
		38	末初	2段ア	○	102	60	38	×	x	
C-8	1次	39	後	(区不明)壁密着	○	52	38	34.5	?	x	
		55	後	軸脇カ、土堤密着	○	45	38	42	1cあ	x	
		56	末初	E区	○	38	34	16	×	x	
		57	後	C区	○	42	39	10.6	1aう	x	
		2	古	「1号貯」(新)	○	62	50	12	×	x	
		3	古	「2号貯」2段ア(貼床下、古)	○	61	54	44	×	x	
		4	古	土堤密着	○	90	68	42	1aう	x	
		6	古	軸脇カ	○	95	65	9	1aい(C側壁)	○	
横根野方	1次	8	古	2段オ	○	60	60	60	×	x	
		10	古		○	62	54	42	×	x	
南2号	1次	11	古		○	73	50	48	×	x	
		12	古	E区	○	83	71	11	×	x	
		17	古		○	68	60	30	2cい(A奥壁)	x	
内道西	1次	3	後	2段ア(一部のみ残)	○	?	80	26		監、ペニガラか	
		2	未初	2段ア(一部のみ残)	○	?	76	40	×	x	154
上台遺跡群	B地点(七郷神社裏)	2	古		○	42	42	12	1bい(C側壁)	x	
		1	古	土堤A・C柱穴間も繋ぐ	○	98	74	17	1bい	x	
		3	古		○	85	66	68	×	x	155
		4	古	C隅密着	○	68	45	20	1bい(C側壁)	x	
木曾呂	1次	1	古		○	36	28	12	×	x	
		4	古	2段オ(深古)、C隅密着	○	131	102	65	1cう	x	157
木曾呂北	1次	9	古	A区カ	○	56	40	26	×	x	
		1	後		×	38	33	20	×	x	
		2	後		×	35	30	40	×	x	
		3	後		×	15	15	20	×	x	
		4	後		×	40	35	?	×	x	
		7	後		×	34	26	20	×	x	
		8	後		×	30	30	?	×	x	
		1	中	D区	×	60	45	35	×	x	
		2	後	区不明	×	28	25	55	×	x	
戸塚5丁目	1次	3	後		×	55	50	10	×	x	
		5	後		×	45	40	55	×	x	
		6	後		×	45	40	17	×	x	
		9	後		×	37	35	30	×	x	
	2次	1	後		×	64	46	16	×	x	
		2	後		×	45	45	30	×	x	
		4	後		×	28	28	20	×	x	
		4	後	軸脇	×	40	30	25	×	x	
小谷場貝塚	1次	3	後	軸上	×	33	33	18	×	x	
		4	後	軸脇	×	38	32	28	×	x	
		4	後	軸脇	×	35	35	46	×	x	
		4	後	軸脇	×	40	40	12	監C隅側	x	
		1	後		×	85	75	30	×	x	
		4	後		○	60	50	42	脇		161
		4	後		○	70	50	15	上・周辺		
		2	後		○	122	75	18	×	x	
		3	後		○	45	45	23	×	x	162
		4	後	D区	×	42	35	23	×	x	
明花向	1次	4	後	D区	×	40	36	?	監	x	163
		5	後		×	46	38	8	×	x	
		1	後		○	40	40	20	1cあ	土堤脇	
		2	後		○	40	40	40	覆う	○	165
		2	後		○	50	45	18	1aう	x	
		6	後		○	30	30	20	1bお	x	
		6	後		×	85	75	35	脇、C隅密着	x	164
		9	後	P 6、C壁密着、土堤密着	×	60	50	?	1aう	x	
		10	後	P 7、C壁密着	×	60	45	?	1aう	x	
		14	後	P 6	○	45	40	30	×	○	
矢垂	1次	15	後	P 4	○	40	40	65	×	x	
		20	後	P 6、土堤密着	○	55	50	75	1cう	x	
		22	後	P 5	○	45	35	25	×	x	
		29	後	P 1	○	55	47	70	×	x	
		32	後	P 4、軸上	○	55	55	25	1aう	x	
		33	後	P 5	×	55	48	?	×	x	
		1	後	P 3	○	45	42	42	1aう	x	
		2	後	P 5	○	29	29	30	1aう	x	168
大木戸	13次	10	後	P 1、床上覆土と別	○	60	?	30	×	x	
		7	後	P 1	○	40	40	20	×	x	166
		7	後		○	75	35	25	×	x	
		2	中		○	72	72	24	1cあ	x	
明花向	1次	3	中		○	66	66	22	1cあ?	x	
		4	中	土堤外縁に溝	○	56	50	32	1cあ	x	
		5	中		○	80	70	26	1cあ	x	
		7	中	E区	○	114	82	39	1cい	x	
矢垂	1次	2	未初	軸脇、壁密着	×	50	35	56	×	x	
		6	未初	軸脇	×	55	55	45	×	x	
		9	未初		○	45	35	35	1aう	x	172
		12	未初		○	55	45	35	1cあ	x	
大木戸	13地点	18	古		×	22	21	13	×	x	179
		3	古	P 1、軸脇	○	44	37	28	1cい	x	
		4-16	古	P 2、C隅	○	47	40	12	×	x	
		4-17	古	C前壁密着	○	50	45	23	×	x	180
大木戸	17次	4-17	古	P 5	○	66	49	20	×	x	
		4-17	古	P 5	○	47	42	25	×	x	

表1-8 遺構一覧

《参考・引用文献》

- 石坂俊郎 2017 「屋内祭祀の舞台－赤砂・小砂利の「祭壇状遺構」－」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第10号
同 2018 「屋内祭祀の舞台(2)－ムラの中の祭壇付住居－」『埼玉県立史跡の博物館紀要』第11号
小倉 均 1988 「弥生時代から古墳時代にかけての小礫などが散布する住居跡について」『浦和市史研究』
第3号 浦和市
同 1990 「弥生時代から古墳時代にかけてみられる祭壇上遺構について」『埼玉考古』第27号

報告書

埼玉県遺跡発掘調査報告書 発行 埼玉県教育委員会

1 『白幡本宿』第29集 1980

発行 上尾市遺跡調査会

2 『上尾市稻荷台遺跡』1979

岩槻市文化財調査報告書 発行 岩槻市教育委員会

3 『木曾良・上野六丁目・西原・村国道下』第22集 2001

浦和市内遺跡発掘調査報告書 発行 浦和市教育委員会・浦和市遺跡調査会

4 『大古里遺跡(第9・10・11・12地点) 稲荷原遺跡』第15集 1991

5 『松木北遺跡(第5次) 馬場北遺跡(第16次)』第16集 1991

6 『井沼方遺跡・井沼方南遺跡』第25集 1997

7 『大古里遺跡・井沼方遺跡・井沼方南遺跡』第26集 1998

8 『別所子野上遺跡・本太5丁目遺跡・井沼方南遺跡・大久保領家遺跡・皇子町遺跡・根岸遺跡』第28集
2000

浦和市東部遺跡群発掘調査報告書 発行 浦和市教育委員会・浦和市遺跡調査会

9 『馬場北遺跡(第6次) 北宿遺跡(第10次) 松木北遺跡(第3次) 松木遺跡(第5次)』第8集 1987

10 『馬場北遺跡(第7次) 松木遺跡(第7次) 松木北遺跡(第4次)』第10集 1988

11 『馬場北遺跡(第15次) 松木遺跡(第12次)』第14集 1990

浦和市遺跡調査会報告書 発行 浦和市遺跡調査会

12 『大北遺跡発掘調査報告書』第9集 1979

13 『別所遺跡発掘調査報告書』第12集 1980

14 『大北遺跡・井沼方遺跡発掘調査報告書』第15集 1981

15 『井沼方・大北・和田北・西谷・吉場遺跡発掘調査報告書』第20集 1982

16 『別所子野上遺跡発掘調査報告書』第22集 1982

17 『北宿、馬場北、馬場東、馬場小室山遺跡発掘調査報告書』第24集 1983

18 『西谷・和田南・大北・大間木内谷遺跡発掘調査報告書』第25集 1983

19 『北宿遺跡発掘調査報告書 2』第26集 1983

20 『善前南遺跡発掘調査報告書』第30集 1983

21 『吉場、西谷、宮前、大間木内谷、和田西遺跡発掘調査報告書』第34集 1984

22 『馬場北・馬場小室山・北宿遺跡発掘調査報告書』第36集 1984

23 『梅所遺跡発掘調査報告書』第43集 1984

24 『松木・三室・南宿南・馬場小室山遺跡発掘調査報告書』第44集 1985

25 『大間木内谷・和田北・和田南・西谷・宮前遺跡発掘調査報告書』第45集 1985

26 『馬場北・馬場小室山遺跡発掘調査報告書』第50集 1985

27 『和田南・宮前・西谷・和田西・大間木内谷・吉場遺跡発掘調査報告書』第58集 1986

28 『井沼方遺跡発掘調査報告書 第8次』第59集 1986

29 『北宿・馬場北・馬場小室山遺跡発掘調査報告書』第62集 1986

30 『北宿西・北宿南遺跡発掘調査報告書』第63集 1986

31 『白幡本宿遺跡発掘調査報告書』第66集 1986

32 『本塙遺跡発掘調査報告書』第71集 1986

- 33 『上野田西台遺跡発掘調査報告書』第73集 1987
34 『本村遺跡発掘調査報告書』第80集 1987
35 『上大久保新田遺跡発掘調査報告書』第86集 1987
36 『前島遺跡発掘調査報告書』第87集 1988
37 『北宿・馬場北遺跡発掘調査報告書』第91集 1988
38 『北宿遺跡発掘調査報告書』第99集 1988
39 『北宿遺跡発掘調査報告書』第100集 1988
40 『日向北遺跡発掘調査報告書(第2次)』第103集 1988
41 『大間木会ノ谷遺跡発掘調査報告書』第104集 1988
42 『大久保領家遺跡発掘調査報告書(第3次)』第105集 1988
43 『本杢遺跡発掘調査報告書(第2地点)』第107集 1988
44 『上野田西台遺跡発掘調査報告書(第4次)』第108集 1988
45 『白幡本宿遺跡発掘調査報告書』第109集 1988
46 『会ノ谷遺跡発掘調査報告書(第2次)』第110集 1989
47 『本杢遺跡発掘調査報告書(第3地点)』第122集 1989
48 『五関中島遺跡発掘調査報告書』第127集 1990
49 『馬場東遺跡発掘調査報告書』第139集 1990
50 『会ノ谷遺跡発掘調査報告書(第3次)』第145集 1991
51 『北宿遺跡発掘調査報告書(第17次)』第151集 1992
52 『大北遺跡発掘調査報告書(第6次)』第156集 1992
53 『子野上遺跡発掘調査報告書(第4次)』第159集 1992
54 『大久保領家片町遺跡発掘調査報告書(第1地点)』第163集 1993
55 『別所子野上遺跡発掘調査報告書(第5次)』第168集 1993
56 『本杢遺跡発掘調査報告書(第6地点)』第171集 1993
57 『上大久保新田遺跡発掘調査報告書(第2次)』第175集 1994
58 『中原後遺跡発掘調査報告書(第7次)』第177集 1994
59 『山久保遺跡発掘調査報告書 第3次』第179集 1994
60 『芝原遺跡発掘調査報告書 第3次』第180集 1994
61 『井沼方遺跡発掘調査報告書(第12次)』第185集 1994
62 『白幡上ノ台遺跡発掘調査報告書(第4次)』第189集 1995
63 『水深北・水深遺跡発掘調査報告書』第191集 1995
64 『大久保領家片町遺跡発掘調査報告書(第3地点)』第194集 1995
65 『別所子野上遺跡発掘調査報告書(第6次)』第197集 1995
66 『水深遺跡(第2次)・水深北遺跡(第3次)発掘調査報告書』第210集 1996
67 『大崎東新井遺跡(第2次)、大崎北久保遺跡(第1次、第2次)、鶴巻西遺跡(第2次)発掘調査報告書』第216集 1996
68 『東裏遺跡発掘調査報告書(第3次)』第217集 1996
69 『本杢遺跡発掘調査報告書(第7地点)』第230集 1997
70 『井沼方遺跡発掘調査報告書(第16次)』第231集 1997
71 『大久保領家片町遺跡発掘調査報告書(第7地点)』第232集 1997
72 『道場寺院跡・大久保領家遺跡(第6次)発掘調査報告書』第237集 1998
73 『下大久保新田遺跡発掘調査報告書(第4次)』第238集 1998
74 『井沼方遺跡(第13・14・15次)・井沼方南遺跡発掘調査報告書』第241集 1998
75 『別所遺跡発掘調査報告書(第3次)』第243集 1998
76 『水深遺跡発掘調査報告書(第4次)』第247集 1998
77 『東浦西遺跡発掘調査報告書』第251集 1999
78 『太田窪貝塚発掘調査報告書』第255集 1999

- 79 『上ノ宮遺跡発掘調査報告書(第2次)』第261集 1999
80 『水深遺跡発掘調査報告書(第5次)』第271集 2000
81 『鶴谷遺跡(第7次)・南方上台遺跡(第1次)・行谷遺跡(第2次)発掘調査報告書』第274集 2000
82 『東裏西遺跡(第2次)・東浦遺跡(第4次)・下野田稻荷原遺跡(第3次)・大門西裏南遺跡(第2次)発掘調査報告書』第277集 2000
83 『別所子野上遺跡発掘調査報告書(第9次)』第286集 2000
84 『本塙遺跡発掘調査報告書(第8地点)』第287集 2000
85 『下野田稻荷原遺跡発掘調査報告書(第5次)』第295集 2001
86 『大間木会ノ谷遺跡発掘調査報告書(第8次)』第297集 2001
- 大宮市文化財調査報告** 発行 大宮市教育委員会
- 87 『高台山遺跡 市内遺跡発掘調査報告』第2集 1970
88 『宮ヶ谷塔遺跡群発掘調査報告』第18集 1985
89 『染谷遺跡群発掘調査報告』第20集 1986
- 大宮市遺跡調査会報告** 発行 大宮市遺跡調査会
- 90 『膝子八幡神社遺跡』第4集 1982
91 『鎌倉公園遺跡』第9集 1984
92 『深作東部遺跡群発掘調査報告』第10集 1984
93 『原遺跡』第12集 1985
94 『八幡耕地遺跡』第17集 1986
95 『北袋遺跡』第19集 1987
96 『B - 92号・A - 230号・A - 61号遺跡』第20集 1987
97 『南中丸下高井遺跡』第23集 1987
98 『御藏山中遺跡1』第26集 1989
99 『A - 239号遺跡』第27集 1989
100 『B - 101号遺跡 B - 7号遺跡』第28集 1989
101 『C - 23号遺跡 A - 214号遺跡』第37集 1992
102 『深作稻荷台遺跡 東北原遺跡』第40集 1993
103 『C - 26号遺跡』第41集 1993
104 『B - 66W号遺跡 C - 66号遺跡』第43集 1993
105 『深作稻荷台遺跡 - 第2・3次調査 - A - 137号遺跡』第44集 1994
106 『土屋下遺跡』第47集 1994
107 『丸ヶ崎遺跡群 - I -』第50集 1995
108 『A - 124号遺跡 B - 61号遺跡』第51集 1995
109 『三崎台遺跡 - 第3次調査 -』第56集 1996
110 『御藏山中遺跡 - 第3次調査 -』第57集 1996
111 『峰岸北遺跡』第59集 1998
112 『A - 61号遺跡 - 第2次調査 -』第62集 1998
113 『大和田本村北遺跡 - 第2次調査 -』第64集 1998
114 『中里遺跡 - 第3次調査 -』第68集 2000
115 『吉野原遺跡 下加南遺跡』別冊3 1986
116 『中里遺跡 篠山遺跡』別冊4 1988
- 与野市文化財調査報告書** 発行 与野市教育委員会
- 117 『中里前原遺跡 - 第二次発掘調査(B地点) -』1981
118 『中里前原北遺跡 上太寺遺跡』第13集 1988
- 発行 埼玉県与野市前原遺跡調査会**
- 119 『中里前原遺跡 - 第一次発掘調査報告書 -』1980
- さいたま市内遺跡発掘調査報告書** 発行 さいたま市教育委員会・さいたま市遺跡調査会

- 120 『東裏遺跡(第6次調査) 円正寺遺跡(第4次調査) 附島遺跡(第3・4調査) 並木貝塚(第1次調査)宿宮前遺跡(第3・4次調査)』第2集 2003
- 121 『西原遺跡(第5地点)・B - 3号遺跡(第2次・第3次調査)・本太五丁目遺跡(第4次調査)・五関中島遺跡(第2次調査)下大久保新田遺跡(第7次調査)・別所子野上遺跡(第11次調査)』第7集 2008
さいたま市遺跡調査会報告書 発行 さいたま市遺跡調査会
- 122 『側ヶ谷戸貝塚 - 第4次調査 -』第9集 2002
- 123 『大久保領家片町遺跡 第12地点』第10集 2002
- 124 『二度栗山遺跡・大戸本村1号遺跡 第3次』第11集 2002
- 125 『鎌倉公園遺跡(第2次調査)・松野氏館跡』第20集 2003
- 126 『大久保領家片町遺跡』第24集 2004
- 127 『下野田稻荷原遺跡(第6次)・東裏西遺跡(第3次)』第26集 2004
- 128 『下大久保新田遺跡(第5次) 西堀上ノ宮遺跡(第3次)』第31集 2004
- 129 『善前南遺跡(第2次)』第35集 2004
- 130 『駒形南遺跡(第4次)・中尾中丸遺跡(第4次)・中尾中丸南遺跡(第2次)・中尾綠島遺跡(第3次)・不動谷東遺跡(第2次)・不動谷南遺跡(第3次)』第41集 2005
- 131 『大谷場小池下遺跡』第42集 2005
- 132 『与野西遺跡(第1次・第2次)・西浦1号遺跡(第1次)・諫訪坂遺跡(第1次・第3次)』第45集 2005
- 133 『札之辻3号遺跡(第3・4・5・6次) 今宮2号遺跡(第14次)』第48集 2006
- 134 『本杔遺跡(第9地点) 中里前原北遺跡(第3次)』第51集 2006
- 135 『下野田稻荷原遺跡(第7次・第8次) 下野田本村遺跡(第3次)』第57集 2007
- 136 『別所子野上遺跡(第10次)・本村遺跡(第17地点)』第59集 2007
- 137 『下野田稻荷原遺跡』第67集 2008
- 138 『南6号遺跡(第1次) 苗塚遺跡(第1次) 今宮2号遺跡(第3次) 八王子前原西遺跡(第1・2次) 八王子浅間神社遺跡(第2・3次) 与野西遺跡(第3次)』第70集 2008
- 139 『南中野諫訪北遺跡 第4次』第72集 2008
- 140 『宿宮前遺跡』第75集 2008
- 141 『中川稻荷山遺跡 第2次・第3次第1地点・第4次』第83集 2009
- 142 『立葉遺跡』第89集 2009
- 143 『釣上新田上遺跡・釣上高岡南遺跡(第1次・第2次)・尾ヶ崎新田深町西遺跡(第1次・第2次)・尾ヶ崎新田深町遺跡』第104集 2009
- 144 『東裏西遺跡(第4次)』第106集 2014
- 145 『下野田稻荷原遺跡(第10次) 下野田本村遺跡(第4～6次) 中野田堀ノ内遺跡(第1次)』第107集 2010
- 146 『中野田堀ノ内遺跡(第2・3次) 下野田稻荷原遺跡(第11次) 下野田本村遺跡(第7次)』第115集 2011
- 147 『丸ヶ崎遺跡群II - A - 147号遺跡(第1次)』第117集 2011
- 148 『丸ヶ崎遺跡群III - A-147号遺跡(第2次)』第124集 2012
- 149 『中野田中原遺跡(第1次) 中野田島ノ前遺跡(第3次) 下野田本村遺跡(第8次)』第126集 2012
- 150 『立葉遺跡(第2次)』第132集 2015
- 151 『北袋新堀遺跡(第2次)』第134集 2015
- 152 『C - 8号遺跡』第138集 2015
- 153 『中野田中原遺跡(第2次・第3次)』第141集 2013
- 154 『横根野方遺跡』第157集 2014
- 155 『南2号遺跡』第159集 2014
- 156 『日向北遺跡(第4・5次)』第160集 2014
- 157 『内道西遺跡』第164集 2015
- 158 『下野田本村遺跡(第9次) 下野田稻荷原遺跡(第13・14次)』第185集 2018
- 川口市文化財調査報告書** 発行 川口市教育委員会

- 159 『上台遺跡群(B 地点—七郷神社浦遺跡)』第21集 1985
川口市遺跡調査会報告 発行 川口市遺跡調査会
- 160 『篠八ツ・木曾呂北・木曾呂』第14集 1991
- 161 『戸塚5丁目遺跡』第25集 2004
- 162 『行衛往還通・戸塚5丁目遺跡』第26集 2004
- 163 『戸塚5丁目遺跡』第34集 2005
- 164 『小谷場貝塚』第40集 2011
- 165 『戸塚5丁目遺跡』第41集 2012
- 166 『小谷場貝塚』第42集 2013
- 167 『小谷場貝塚』第45集 2014
- 168 『小谷場貝塚』第46集 2014
- 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 発行 (公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 169 『明花向遺跡』第35集 1984
- 170 『札之辻・小井戸』第55集 1986
- 171 『須黒神社遺跡』第56集 1986
- 172 『矢垂遺跡』第65集 198
- 173 『稻荷台遺跡』第139集 1994
- 174 『中里前原北遺跡』第176集 1996
- 175 『中里前原遺跡』第228集 1999
- 176 『稻荷台遺跡Ⅱ』第239集 2000
- 177 『下野田本村遺跡』第255集 1999
- 178 『下野田稻荷原遺跡』第263集 2001
- 179 『大木戸遺跡』第405集 2013
- 180 『大木戸遺跡Ⅳ』第445集 2018